SONY®

3-860-603-**04** (1)

# トリニトロン®カラーテレビ

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 目次

### 操作編



### 準備編



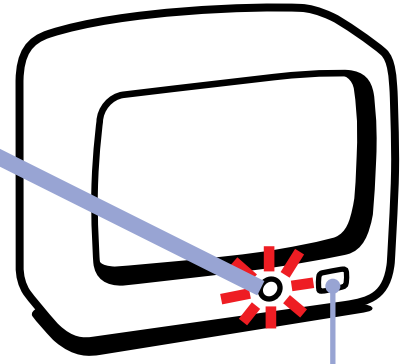
### その他



***KV-32SF9***

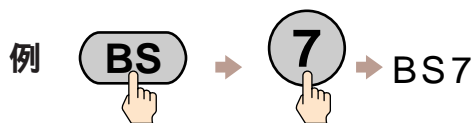
# テレビ、衛星放送を見る

## 1 赤いスタンバイ／スリープランプまたは電源ランプがついているか確認する。

ついていないときは本体の電源スイッチを押します。

## 2 チャンネルを選ぶ。

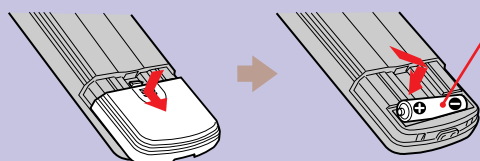
ボタンを押すと、自動的にテレビがつきます。
衛星放送（BS）を見るには、数字ボタン⑬〜⑮を押します。

チャンネル＋／－ボタンを押すと、①〜⑮の放送が順に映ります。
衛星放送（BS）は、BSボタンを使って見ることもできます。

例

（BSボタンを押してから
3秒以内に押してください。）

## 3 音量を調整する。

- スタンバイ／スリープランプがついているときは、緑色表示のボタンを押すと自動的にテレビがつきます。（チャンネルポン機能／インデックスポン機能）
- 省電力のため、放送が終了して約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。
- 有料の衛星放送（WOWOWなど）を見るときは、「有料の衛星放送を見る」をご覧ください（☞34ページ）。

## リモコンに乾電池を入れるには

単3形乾電池（付属）
必ずイラストのように
⊖極側から電池を入れ
てください。

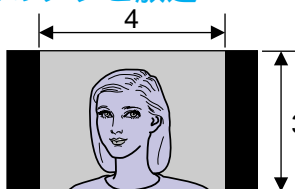
# ワイド画面を楽しむ（オートワイド）

オートワイドとは本機が画像の種類を判断したり、画像といっしょに送られる識別信号＊に応じて、下記のように、**自動的に画面を切り換える機能**です。画像に応じて最適なワイド画面でお楽しみいただけます。

＊ **識別信号**
本機がその映像に最適なワイド画面へ切り換えられるように、画像の横縦比（4：3や16：9など）の情報をあらかじめ含んだテレビ放送やビデオ信号のことです。
テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送と4：3映像の識別信号があります。また、ビデオカメラなどのビデオ機器では、ID-1方式☆やS-1方式☆の識別信号があります。

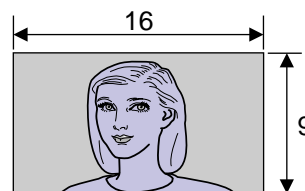
**こちらの画面が…**

**オートワイドがはたらくと…**

**識別信号のない画像のとき**

## 通常のテレビ放送

メニュー操作で、「オートワイド」を「2」、「4：3映像」を「ワイドズーム」に設定したとき（☞6、7ページ）

**ワイドズーム**

**横縦比4:3の映像（通常のテレビ画像）を拡大し、16：9の画面におさまるように上下のはみ出た部分を圧縮します。**

**ワイドズーム**

## 黒帯付きの映画（字幕は映像の中）

**ズ　ー　ム**

**横長の映像をそのまま拡大します。**

**ズーム**

## 黒帯付きの映画（字幕は映像の外）

**字　幕　入**

**横長の映像を拡大し、16：9の画面におさまるように字幕の部分を圧縮します。**

**字幕入**

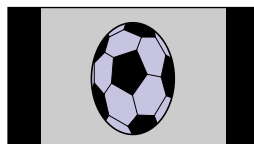
**識別信号のある画像のとき**

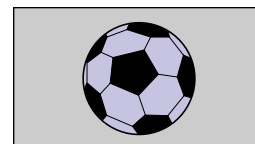
## ワイドクリアビジョン放送

**ズ　ー　ム**

**16:9の映像をそのまま画面いっぱいに拡大します。**

**ズーム**

## S-1方式☆やID-1方式☆の識別信号が記録されているビデオ機器の映像

**フル（またはズーム）**

**フル：4:3の映像を横幅だけ画面いっぱいに拡大します。**
**（ズーム：16：9の映像をそのまま画面いっぱいに拡大します。）**

**フル**

## オートワイドの「1」と「2」について

オートワイドには、「1」と「2」の2種類があり、メニュー操作で設定することができます。

### オートワイド：1

テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送や一部の放送局の通常放送（4：3映像）に、映像を判別する識別信号が、電波に乗って送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別信号が出力されています。
このような識別信号を判断して、**忠実に再現する**のが、オートワイドの「1」です。ただし、識別信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

### オートワイド：2

左ページのように、識別信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイドの「2」です。

したがって、通常、ご家庭でオートワイド機能を十分にお楽しみいただくために、**「オートワイド」を「2」に設定すること（☞6ページ）をおすすめします。**

**識別信号のない映像は**

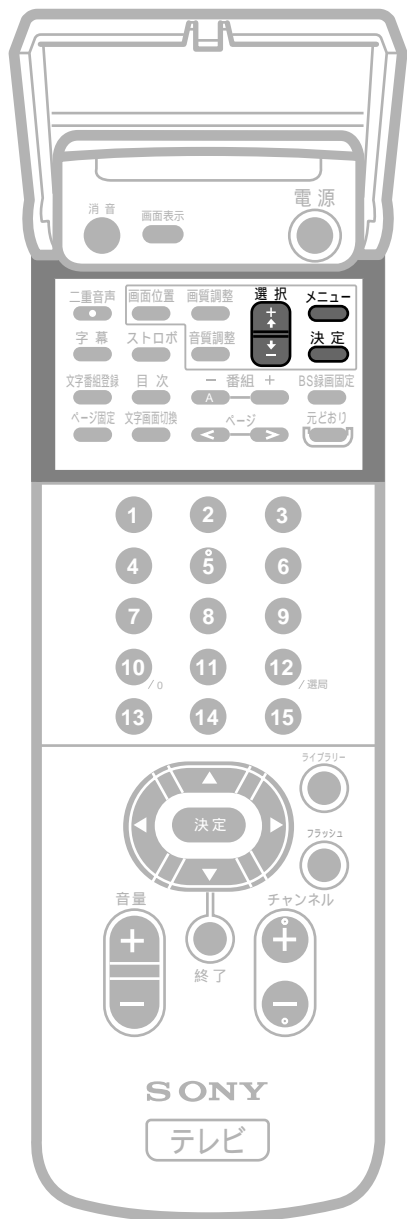
| 映像の種類 | オートワイド：1 | オートワイド：2 |
|---|---|---|
| 通常のテレビ放送（4：3映像） | 手動で選んだ画面モードで映ります。 | メニューで設定した画面モード（「ワイドズーム」または「ノーマル」）で映ります。☞6～7ページ。 |
| 黒帯付きの映画など | 手動で選んだ画面モードで映ります。 | ワイド画面（「ズーム」または「字幕入」）で映ります。 |

**識別信号のある映像は**

| 映像の種類 | オートワイド：1 | オートワイド：2 |
|---|---|---|
| ワイドクリアビジョン放送 | ワイド画面（「ズーム」）で映ります。 | |
| S-1方式☆、ID-1方式☆識別信号の入った映像 | ワイド画面（信号に対応した「ズーム」または「フル」）で映ります。 | |
| 4：3映像の識別信号が入っているテレビ放送 | 4：3画面（ノーマル）で映ります。 | メニューで設定した画面モード（「ワイドズーム」または「ノーマル」）で映ります。☞6～7ページ。 |

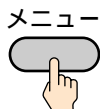
手動で切り換えたあとなどでは、右の表のように、ならないことがあります。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

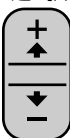
つづく

## オートワイドを設定する

メニュー操作で、オートワイドを「1」か「2」に設定します。

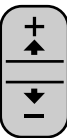
**1**

### メニューボタン押す。

メニュー　終了
▶ 画質／音質
２画面
文字
画面モード
タイマー
各種切換

**2**

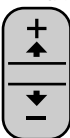
### 選択＋／−ボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。

画面モード　戻る
▶ オートワイド：　2
4：3映像：ワイドズーム
ワイドズーム
ズーム
字幕入
フル
ノーマル

**3**

### 選択＋／−ボタンを押して「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。

画面モード　戻る
オートワイド：　2
4：3映像：ワイドズーム
ワイドズーム
ズーム
字幕入
フル
ノーマル

**4**

### 選択＋／−ボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。

「1」を選んだ場合は、次ページの手順7にすすんでください。

画面モード　戻る
▶ オートワイド：　2
4：3映像：ワイドズーム
ワイドズーム
ズーム
字幕入
フル
ノーマル

**5**

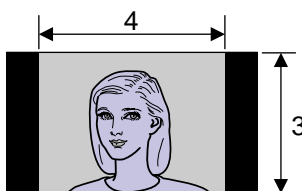
### （手順4で「オートワイド：2」を選んだ場合のみ）選択＋／−ボタンを押して「4：3映像」を選び、決定ボタンを押す。

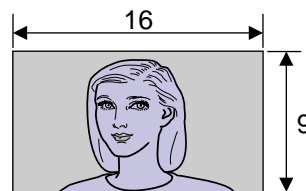
画面モード　戻る
オートワイド：　2
4：3映像：ワイドズーム
ワイドズーム
ズーム
字幕入
フル
ノーマル

## 6

**（手順4で「オートワイド：2」を選んだ場合のみ）**
**選択＋／－ボタンを押して通常のテレビ放送（4：3映像）をどう映すか（「ノーマル」または「ワイドズーム」）を選び、決定ボタンを押す。**

通常のテレビ放送（4：3映像）は、次のように切り換わります。

**「ノーマル」にすると**
横縦比4：3の映像のまま映ります。

**「ワイドズーム」にすると**
横縦比4：3の映像（通常のテレビ画像）を拡大し、16：9の画面におさまるように上下のはみ出た部分を圧縮します。

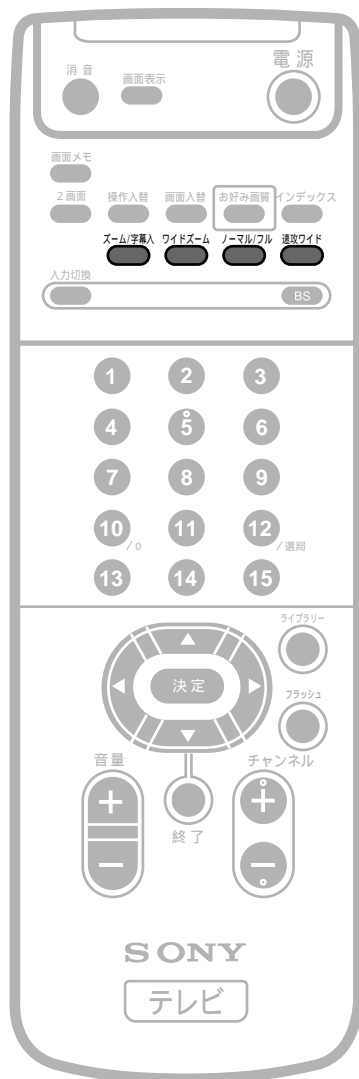
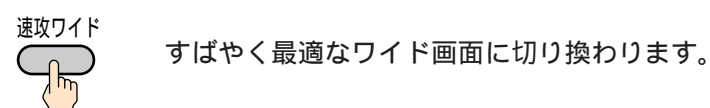
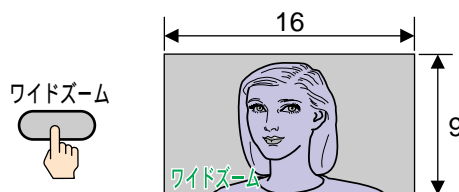
## 7

**メニューボタンを押してメニューを消す。**

### オートワイド機能を働かせたくないときは

☞6ページの手順4で「切」を選びます。
識別信号の有無に関係なく、すべての映像を、現在選んでいる画面モードで映します。チャンネルや入力を切り換えたり、電源を入／切しても、画面モードは切り換わりません。

**ワイド画面に関して**

- このワイド画面テレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このワイド画面テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してワイド画面テレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。

# ワイド画面を手動で切り換える

お好みのワイド画面に手動で切り換えることができます。また、電波の受信状態が悪いときや、暗い部分が多い映像など、オートワイドが正しく動作しないときも、手動で切り換えてください。

速攻ワイド

すばやく最適なワイド画面に切り換わります。

## 手動で切り換えたあとは

**オートワイドを「1」に設定しているとき**

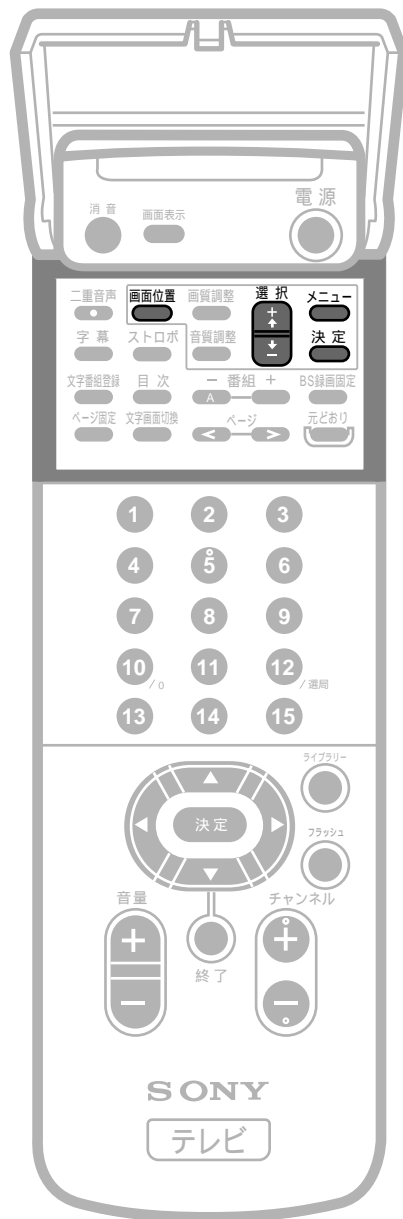
あらたに識別信号のある画像を受信すると、信号に忠実な画面モードに変ります。

**オートワイドを「2」に設定しているとき**

識別信号のない画像では、オートワイド機能が働かなくなります。（速攻ワイドボタンで切り換えたときのみ、オートワイド機能は働きつづけます。）

チャンネル切換や入力切換、電源入／切、親子画面での画面入替を行うと、再びオートワイド機能が働くようになります。

**画面モードを固定しておくには**

「オートワイド」を「切」に設定します。☞6ページ。

# ワイド画面を使いこなす



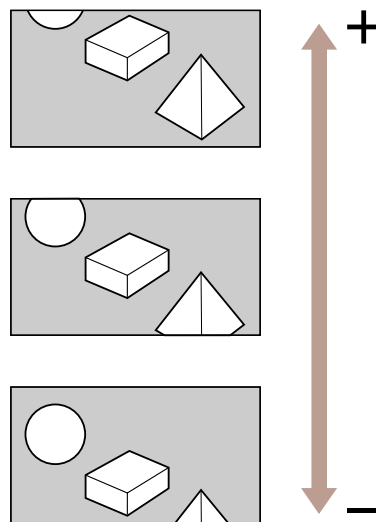
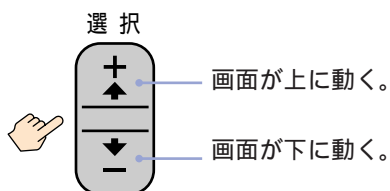
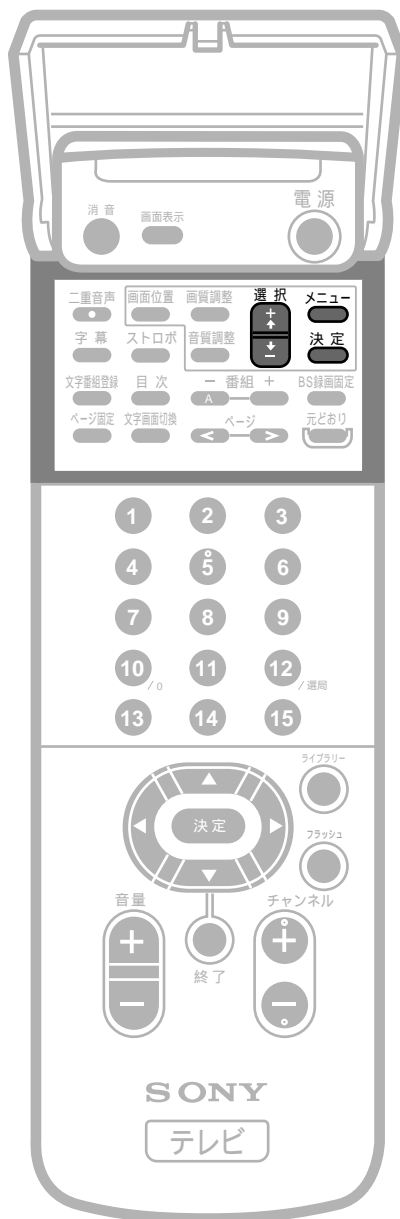
## 画面位置を上下に調整するには

以下のようなときは、画面を上下に動かしてください。

- **ワイドズーム画面で**画面の上または下が欠けるとき。
- **ズーム画面で**画面を見やすい位置にしたいとき。
- **字幕入画面にしても**字幕が画面に入りきらないとき。

ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定できます。

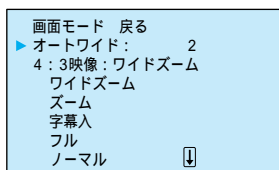
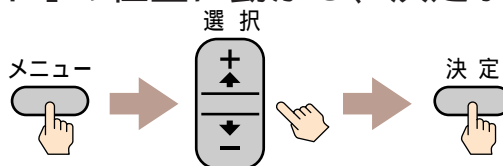
### 1 画面位置ボタンを押す。

### 2 選択＋／－ボタンを押して画面の位置を調整する。

### 3 画面位置ボタンを押す。

## 映像を縦方向に伸ばしたり縮めたりするには

この操作は、**ワイドズーム、ズーム、字幕入画面**のときに行うことができます。ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定することができます。

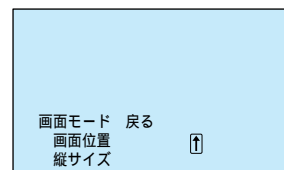
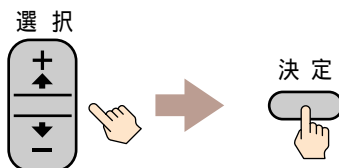
### 1

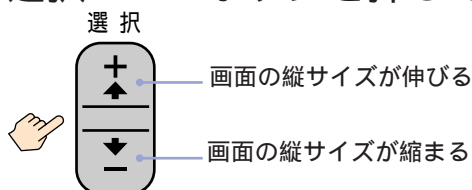
**メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／−ボタンを押して▶を「画面モード」の位置に動かし、決定ボタンを押す。**

画面モード　戻る
▶ オートワイド：　2
4：3映像：ワイドズーム
ワイドズーム
ズーム
字幕入
フル
ノーマル

### 2

**選択＋／−ボタンを押して「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。**

▶を「ノーマル」より下に移動させると、「画面モード」の次画面が現れ、「縦サイズ」がでてきます。

画面モード　戻る
画面位置
縦サイズ

### 3

**選択＋／−ボタンを押して調整する。**

### 4

**メニューボタンを押してメニューを消す。**

# 2画面で見る（ツインピクチャー機能）



ツインピクチャーまたは親子画面を使って2つのチャンネルを同時に見ることができます。また、ツインピクチャー機能でスピーカーとヘッドホンを使い、二種類の音が楽しめます。

## 2画面にする

### 2画面ボタンを押す。

通常の画面

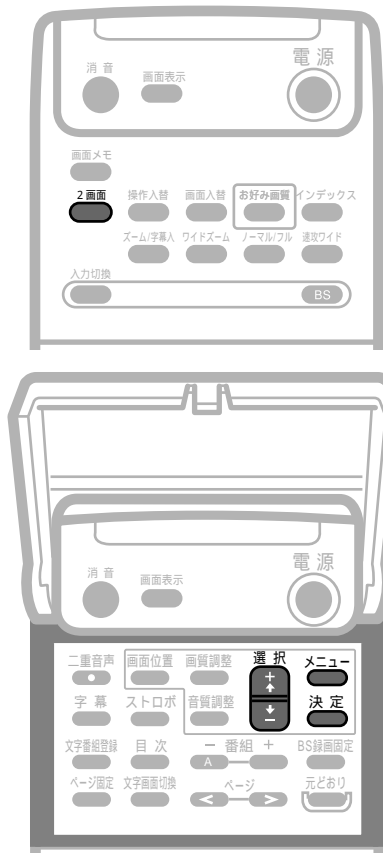
2画面

ツイン1

2画面

または

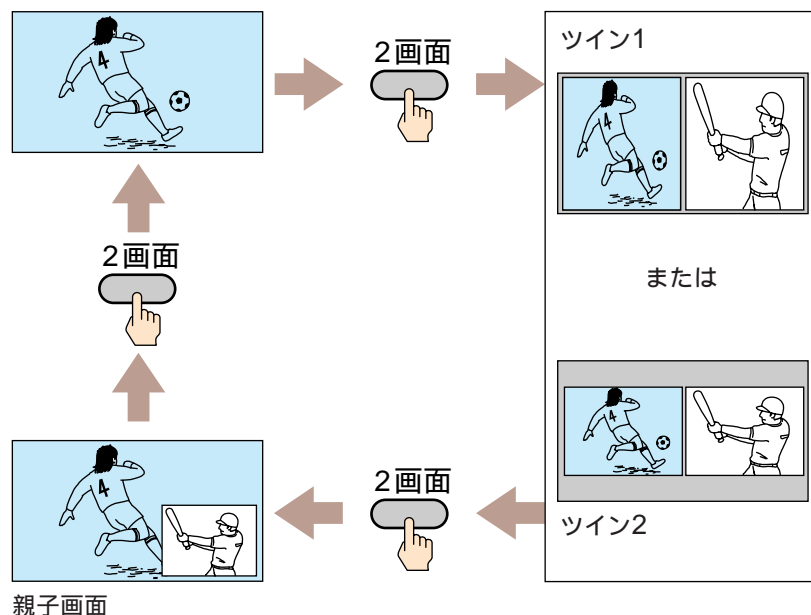
2画面

ツイン2

親子画面

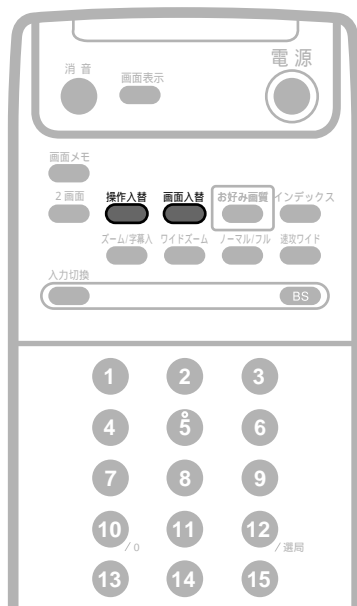
**2画面のままテレビの電源を切り、その後再び電源を入れると**
自動的に1画面に戻ります。

**ツインピクチャーや親子画面に切り換えた直後は**
常に左画面または親画面が操作できる画面になります。

**2画面で見られない組み合わせ**
VHF／UHFの同一チャンネル、BSの同一チャンネル、同一ビデオ入力、BSの別々のチャンネルを同時に見ることはできません。
ただし、BSチューナーのついたビデオデッキを使うと、ビデオ入力の画面でBSを見ることができます。

**親子画面を見ていたあとで1画面に戻ると**
親子画面のときの親画面が映ります。

### ツイン1またはツイン2を切り換えるには

1. メニューボタンを押す。
2. 選択＋／ーボタンを押して「2画面」を選び、決定ボタンを押す。
3. 選択＋／ーボタンを押して「ツイン選択」を選び、決定ボタンを押す。
4. 選択＋／ーボタンを押して「ツイン1」または「ツイン2」を選び、決定ボタンを押す。
5. メニューボタンを押してメニューを消す。

つづく

**親子画面では、モジネット☆を見ることはできません。**

**右画面でモジネット☆を見ているときは**
画面入替はできません。

**左画面または親画面を録画することができます**
本体裏面のビデオ出力端子からは左画面または親画面の映像／音声信号が出力されます。ビデオの接続については☞57〜59ページ。
2画面を同時に録画することはできません。

**左画面または親画面で放送が終了すると**
省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

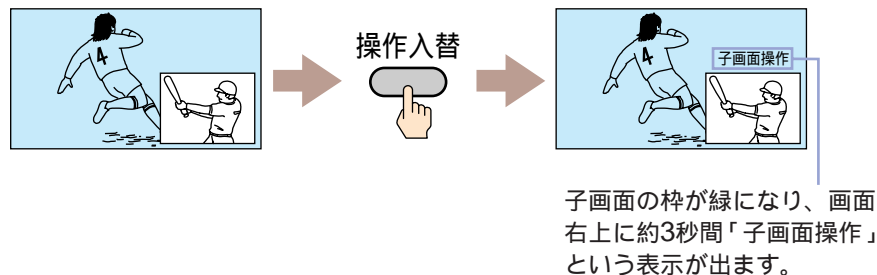
**親子画面使用上のご注意**
この親子画面を喫茶店やホテル等で、営利目的または公衆に視聴させる目的で使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

## 操作できる画面を切り換える

操作入替ボタンを押してください。
ツインピクチャーまたは親子画面の操作画面が切り換わり、音量調節、チャンネル切換、入力切換ができるようになります。

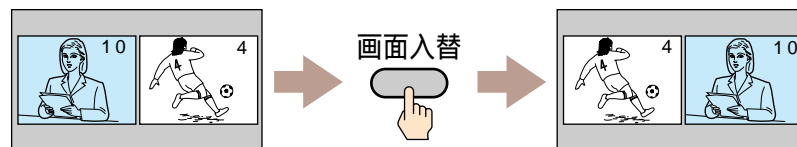
**親子画面のとき**

**子画面の枠が緑になり、画面右上に約3秒間「子画面操作」という表示が出ます。**

スピーカーからは操作画面の音声が出ます。
ヘッドホンをつないでいるときは☞13〜14ページ。

### 親画面／左画面操作に戻すには

操作入替ボタンをもう一度押してください。

## 左右（または親子）の画面の位置を入れ替える

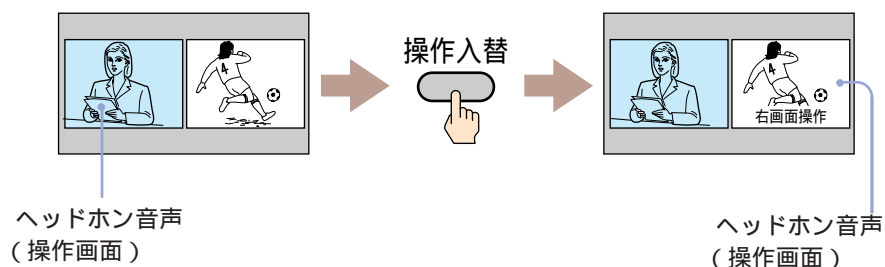
画面入替ボタンを押してください。

### 子画面の位置を変えるには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「2画面」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「子画面位置」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「左」または「右」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

**1画面のときにヘッドホンをつなぐと**
ご覧になっている画面の音声をヘッドホンで聴くことができます。スピーカーからは音声は出ません。

# ヘッドホンで音声を聴くには

ヘッドホンを使って2画面の音声を聴くことができます。状況に応じてヘッドホンモードを切り換えてお楽しみください。

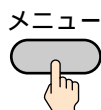
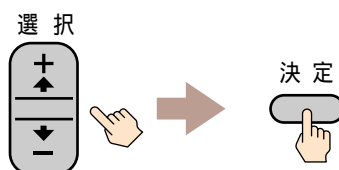
**ひとりで静かにご覧になるとき ……「ヘッドホンモード：1」**
スピーカーからは音声は出ません。
操作入替ボタンを押すと、ヘッドホンの音声がもう一方の画面の音声に切り換わります。

**二人で別々の番組をご覧になるとき ……「ヘッドホンモード：2」**

スピーカーとヘッドホンから別の音声が出ます。
まず、操作入替ボタンを押して、スピーカーで音声を聴きたいほうの画面を操作画面にしてください。
次に、メニューで「ヘッドホンモード」を「2」に切り換えてください（「ヘッドホンモードを選ぶには」☞14ページ）。「2」を選んだ後で、操作入替ボタンを押してもスピーカーとヘッドホンの音声は入れ替わりません。
音量調節やチャンネル切換、入力切換をしたいときは、操作入替ボタンを押してその画面を操作できるようにしてください。

操作編

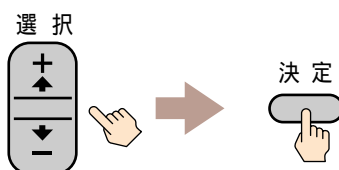
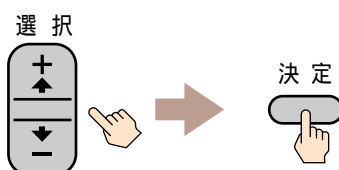
つづく

## ヘッドホンモードを選ぶには

**1** **メニューボタンを押す。**

**2** **選択＋／－ボタンを押して▶を「2画面」の位置に移動し、決定ボタンを押す。**

2画面　戻る
▶ 2画面：　　　ツイン
ツイン選択：ツイン1
操作入替：左画面操作
子画面位置：　　　右
ヘッドホンモード：1
画面入替

**3** **選択＋／－ボタンを押して「ヘッドホンモード」を選び、決定ボタンを押す。**

**4** **選択＋／－ボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。**

**5** **メニューボタンを押してメニューを消す。**

**2画面のときにヘッドホンを抜くと**
「ヘッドホンモード：1」のときはヘッドホンで聴いていた音声が出ます。
「ヘッドホンモード：2」のときは、それまでスピーカーから出ていた音声が出ます。
また、それまでスピーカーから音声が出ていたほうの画面が操作画面になります。

# チャンネルを一覧表示する（チャンネルインデックス機能）



チャンネルインデックス機能を使って、設定されているすべてのチャンネルを順番に画面に映し出すことができます。次に見たい番組を確認したり、チャンネルを選ぶときに便利です。この機能を使う前にあらかじめ、チャンネル設定をしておいてください。（「チャンネルを自動設定する」☞46ページ。）

## 1 インデックスボタンを押す。

画面が13画面（または9画面）表示になり、それまで見ていたチャンネルが中央に表示されます。あらかじめ設定されているすべてのチャンネルが左上から時計回りに順番に映し出されます。

インデックス

（例）13画面

それまで見ていたチャンネル

チャンネルの数がインデックス画面の数よりも多い場合は、左上の画面に戻り前のチャンネルにかぶせて表示されていきます。最後のチャンネル表示が終わったあとは、左上の画面に戻り最初のチャンネルから表示動作を繰り返します。

## 2 チャンネル数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ。

**例1）10チャンネルを選ぶ**

10

**例2）42チャンネルを選ぶ**

42チャンネルがチャンネル数字ボタンの5に設定されているときは、「5」を押します。

42

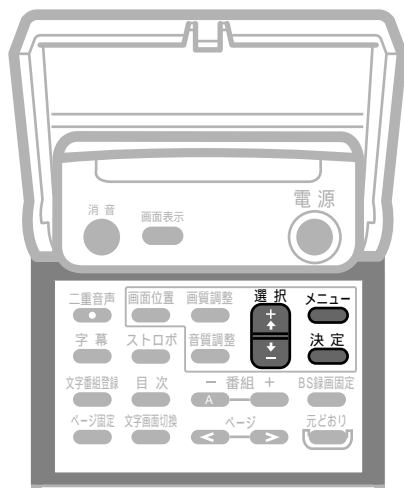
**BSチャンネルについて**

- BS録画固定時は固定されたチャンネルのみインデックス画面に表示されます。BS録画固定については「衛星放送を録画する」☞38ページ。
- 中央の画面にBSが映っている時は、BSはそのチャンネルのみインデックス画面に表示されます。
- 有料BSチャンネルはスクランブル☆がかかったままインデックス画面に表示されることがあります。

**中央の画面で放送が終了すると**

省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

# チャンネルを一覧表示する（つづき）

**ご注意**

- チャンネルインデックス中は画面モード（ワイドズームなど。☞4ページ）を切り換えたり、2画面（☞11ページ）にすることはできません。
- 画面メモ、ストロボ、モジネット☆を見ているときはチャンネルインデックスをすることはできません。
- チャンネルインデックス画面を録画することはできません。チャンネルインデックス中は中央の画面の映像／音声のみ本体裏面のビデオ出力端子から出力されます。
- チャンネルインデックス中はオートワイドの「4:3映像」の設定はできません。

## インデックス画面の数（13画面または9画面）を選ぶには

（お買い上げ時は13画面に設定されています）

**1** 本体の設定ボタンを押す。

**2** 選択＋／－ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

**3** 選択＋／－ボタンを押して「インデックス画面」を選び、決定ボタンを押す。

**4** 選択＋／－ボタンを押して「13画面」または「9画面」を選び、決定ボタンを押す。

13画面

それまで見ていたチャンネル

9画面

それまで見ていたチャンネル

**5** 設定ボタンを押してメニューを消す。

## チャンネルインデックスを途中でやめるには

インデックスボタンをもう一度押します。チャンネルインデックスを始める前の画面に戻ります。また、チャンネル＋／－ボタン、入力切換ボタンを押すとチャンネルインデックスは解除され、選んだチャンネル／入力に切り換わります。

## インデックスポン機能

スタンバイランプが点灯しているときにインデックスボタンを押すと、テレビの電源が入り、チャンネルインデックス画面が表示されます。
あらかじめ見たい番組が決まっていないときなどに使うと便利な機能です。

### インデックス画面の画面モードについて

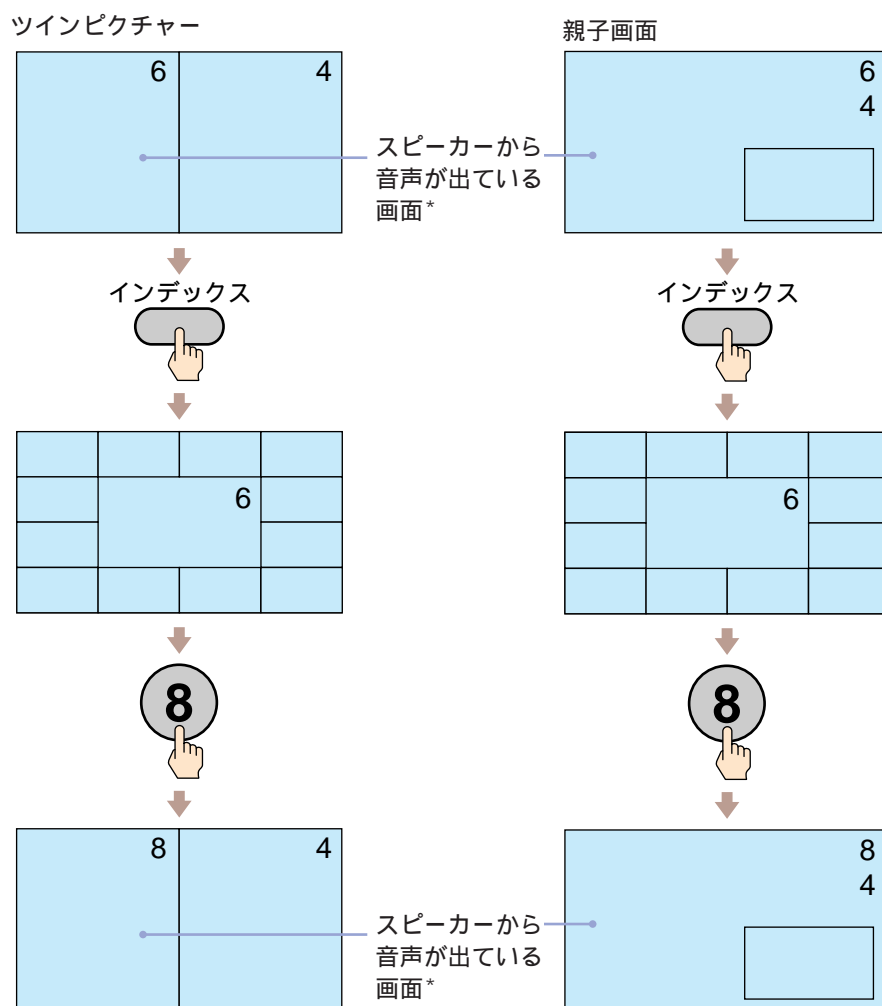
オートワイドの「4：3映像」設定（☞6ページ）にしたがって変わります。
「オートワイド」を「1」または「切」でご使用になっているときに、インデックス画面の画面モードを変更する場合は、一度「オートワイド」を「2」にして「4：3映像」で「ワイドズーム」、「ノーマル」を設定してから、再び「オートワイド」を「1」または「切」にして使用してください。
「4：3映像」が「ノーマル」のときは4：3の画面で表示されます。
「4：3映像」が「ワイドズーム」のときは画面いっぱいに表示されます。

**録画中にインデックスボタンを押すと**
ツインピクチャーの左画面または親子画面の親画面を録画しているときにインデックスボタンを押すと、チャンネル切り換えをしなくても録画されるチャンネルが切り換わることがありますのでご注意ください。

＊「ヘッドホンモード」を「1」（スピーカーから音声は出ません。☞13ページ）にして、ヘッドホンで音声を聴いているときは、ヘッドホンで音声を聴いている方の画面。

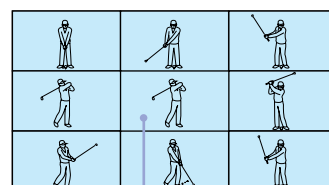
☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

# 2画面時にチャンネルインデックスする

2画面（ツイン1／2、親子画面）のときにインデックスボタンを押すと、下記のように画面が切り換わります。

2画面同時に同じチャンネルを映すことはできません。

# 連続映像を見る（ストロボ機能）

連続した画面を8コマの静止画で見ることができます。
ゴルフのスイングなどを分析するのに便利です。

## ストロボボタンを押す。

それまで映っていた画面が
引き続き映ります。（動画）

### もとの画面に戻すには

ストロボボタンをもう一度押してください。

### ストロボの間隔を変更するには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「ストロボ」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「0.5秒」、「1秒」、「2秒」、「4秒」の中から
お好きな間隔を選ぶ。
メニューの秒数は8コマを表示するのにかかる時間です。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

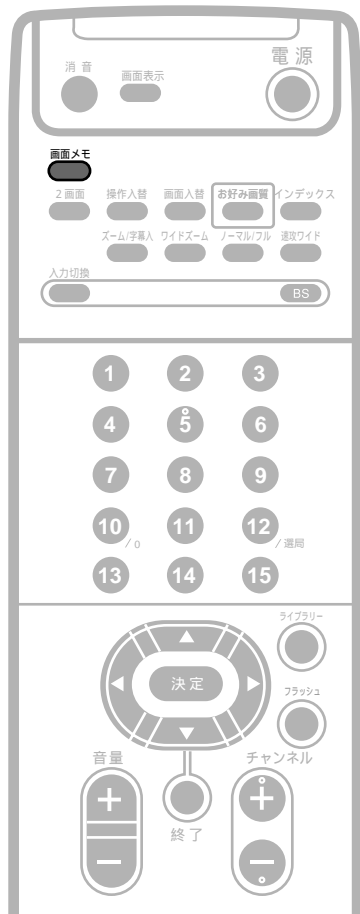
**中央の画面で放送が終了すると**

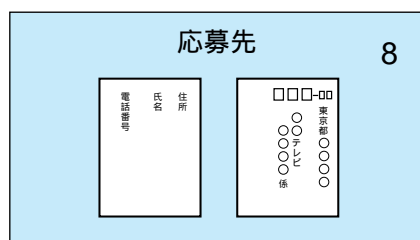
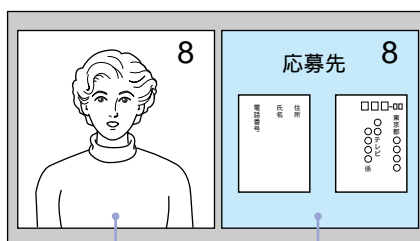
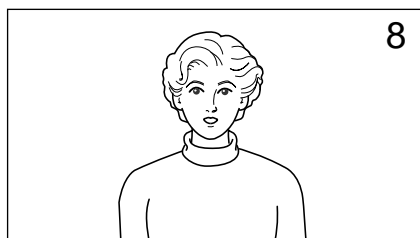
省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

**ご注意**

- 2画面、画面メモ、チャンネルインデックス、モジネット☆を見ているときはストロボ機能は働きません。
- ストロボ画面を録画することはできません。ストロボ中は中央の動画の映像／音声のみ本体裏面のビデオ出力端子から出力されます。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

# 画面メモをする



画面メモボタンを押した瞬間の画面が静止して、右側に移ります。応募先や料理番組の材料を書き留めるのに便利です。

静止画面が出ます。

通常画面に戻ります。

**画面メモを見ているときにチャンネル切換、入力切換をすると**
自動的に1画面に戻ります。

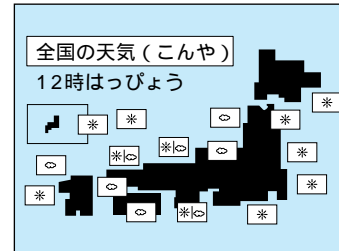
**ご注意**
2画面、チャンネルインデックス、ストロボ、モジネット☆を見ているときは画面メモ機能は働きません。

**左の通常画面で放送が終了すると**
省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

# モジネット（文字放送）とは

テレビ信号の画面と画面のすき間を利用して、テレビ放送とは別に文字や図形による情報を同時に送る放送方式です。各テレビチャンネルごとに個別の文字放送番組を送っています。モジネット（文字放送）を行っていないチャンネルもあります。

**文字や図形による静止画面が次々に切り換わり、雑誌のページをめくるように見ることができます。**

**ご注意**

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等においてテレビ放送受信時に、モジネットの2画面機能やフラッシュ機能・ライブラリー機能等を利用されますと、著作権法で保護されている権利者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- モジネット画面の音声は出ません。
- リモコンの電源ボタンで電源を切ってもモジネットの情報は更新されます。（「文字メモリー：入」のとき☞26ページ）
- 本体の電源ボタンで電源を切るとモジネットの情報は消えます。
- 本体の電源ボタンで電源を入れ、モジネットの番組を選んだとき、文字情報が表示されるまで多少の時間がかかります。
- 説明で使用している画面などのイラストの内容は説明用のもので、例として使用しています。

## モジネットの特徴

### 加入手続き不要で、無料

加入手続きは必要なく手軽に楽しむことができます。受信料は無料です。

### 見たいときに見たい番組を自由に選択

モジネットは、各局多数の番組があり、放送時間中はすべてのモジネット番組が放送されています。したがって、見たいときに見たい番組を自由に選ぶことができます。

### タイムリーな情報が得られます

必要な情報は随時更新して、放送されています。

# モジネットの番組は次のような構成で放送されています

2ページ目

テレモ ザ・クッキング 703#ー02/04 4.16
講師：広瀬まり 12/13（火）放送
ぶりの照焼香り添え（270kcal）
材料（4人前）
ぶり（切り身）…4切れ
大根おろし…カップ1
柚…適量 酒…少々 塩…少々
みりん…おおさじ2

3ページ目

テレモ ザ・クッキング 703#ー03/04 4.16
ぶりの照焼香り添え
1）ぶりは塩をふり、10分ほどおく。
2）大根おろしは軽く水けを絞り、柚の皮をおろして加え、混ぜておく。
3）フライパンにサラダ油を熱し、盛りつけたとき表になる側を下にしてぶりをいれ中火で軽く焼く。

4ページ目

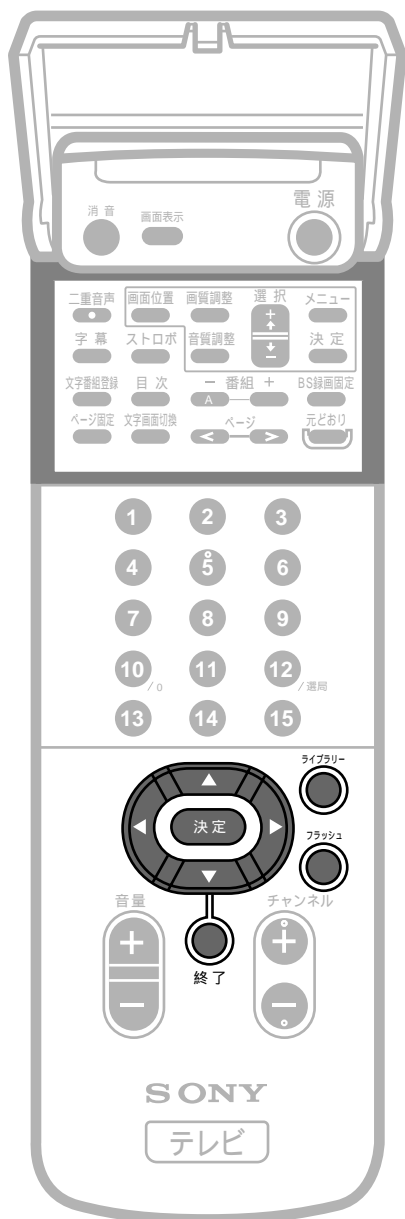
テレモ ザ・クッキング 703#ー04/04 4.16
ぶりの照焼香り添え
4）ぶりの両面に焼き色がついたらフライパンに砂糖をいれる。
【メモ】表面を軽く焼いておくと、うまみが逃げない。

## 番組番号

モジネットではすべての番組に特定の番号が割り振られています。番組番号は変更になることがあります。

## ページ番号

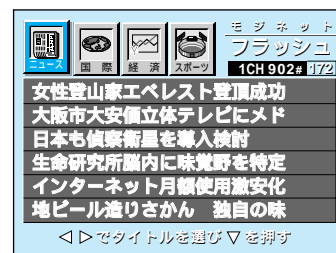
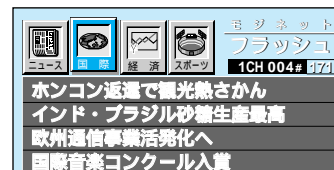
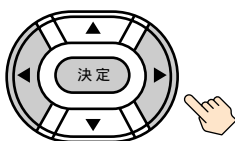
右上の例では、選んだ番組に4ページの画面があり、そのうちの1ページ目であることを表示しています。（総ページ数は表示されないことがあります。）

# モジネットを楽しむ

モジネットの番組への入りかたには、「フラッシュ」、「ライブラリー」、「目次」の3つの方法があります。
「フラッシュ」、「ライブラリー」は、前もって登録されたモジネットの番組をすばやく呼び出す機能です。
お買い上げ時は、自動的にNHK（総合テレビ）のモジネットの番組が登録されるようになっておりますので、この機能をご使用になる前には、しばらくNHK（総合テレビ）をご覧ください。

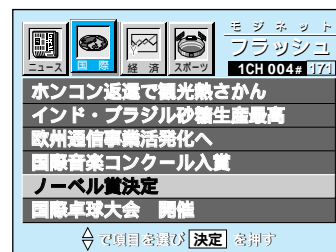
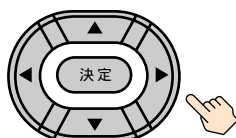
## フラッシュ機能を使う

- ニュースなどの見出しを一覧できる機能です。
- 見出し項目を選ぶことで、その項目のさらに詳しい情報を見ることができます。
- それまで見ていたテレビのチャンネルに関係なく、あらかじめ絵文字に登録されているモジネットの番組が表示されます。

### 1 フラッシュボタンを押す。

フラッシュ画面が表示されます。

### 2 ◀／▶ボタンを押して見たいカテゴリーを選び、決定ボタンを押す。

## 3

### ▲／▼ボタンを押して見たい項目を選び、決定ボタンを押す。

ページが分かれているときは、◀／▶／▲／▼ボタンを押して他のページに移動します。

### フラッシュの画面に戻すには

もう一度フラッシュボタンを押してください。

### テレビ番組に戻すには

終了ボタンを押してください。

## ライブラリー機能を使う

あらかじめ登録してあるモジネットの番組を、絵文字を選ぶだけで簡単に見ることができます。

## 1

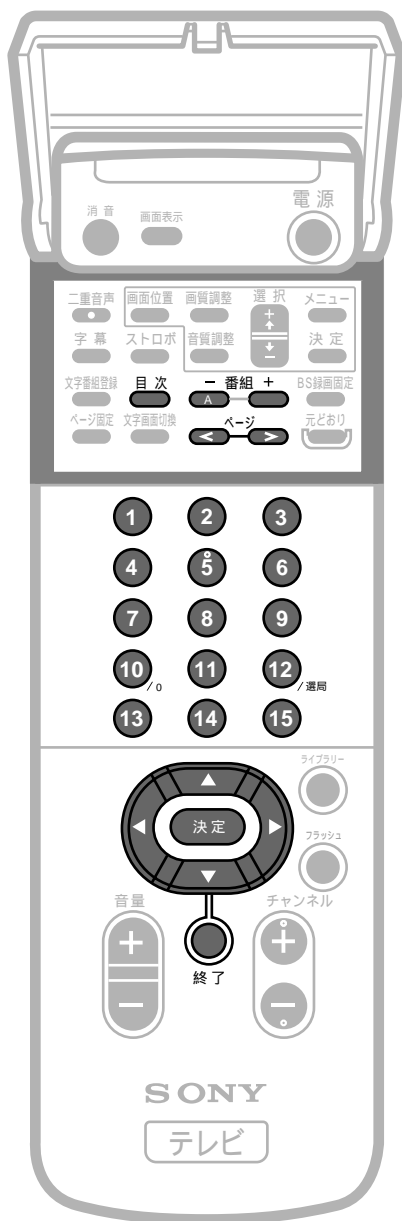
### ライブラリーボタンを押す。

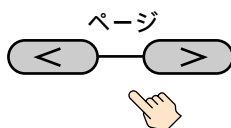
ライブラリー画面が表示されます。

ライブラリー

## 2

### ◀／▶／▲／▼ボタンを押して見たい絵文字を選び、決定ボタンを押す。

つづく

## 3 ページ<／>ボタンを押して見たいページを選ぶ。

押すごとにページがアップ、ダウンします。

### ライブラリー画面に戻すには

もう一度ライブラリーボタンを押してください。

### テレビ番組に戻すには

終了ボタンを押してください。

**ご注意**

- モジネットの番組名、番組番号は変更になることがあります。
- お好みのモジネットの番組を登録したいときは「フラッシュやライブラリーの登録を変更するには」☞27ページ。

## お買い上げ時に「フラッシュ」、「ライブラリー」に登録されるモジネットの番組

### フラッシュ

| カテゴリー | テレビチャンネル | モジネットの番組名 | 番組番号 |
|---|---|---|---|
| ニュース | NHK（総合テレビ） | ニュース | 902# |
| 国際 | NHK（総合テレビ） | 国際ニュース | 004# |
| 経済 | NHK（総合テレビ） | 経済ニュース | 003# |
| スポーツ | NHK（総合テレビ） | スポーツニュースハイライト | 007# |

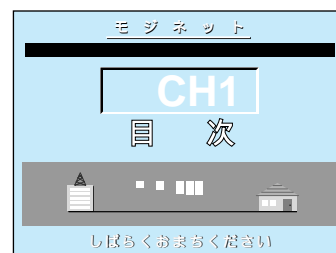
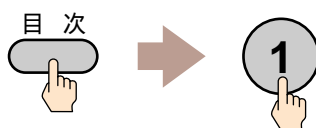
### ライブラリー

| カテゴリー | テレビチャンネル | モジネットの番組名 | 番組番号 |
|---|---|---|---|
| 天気 | NHK（総合テレビ） | 全国の天気予報 | 301# |
| 週間 | NHK（総合テレビ） | 全国の週間天気予報 | 302# |
| 株式 | NHK（総合テレビ） | きょうの株価指標 | 100# |
| 為替 | NHK（総合テレビ） | 東京外国為替市況 | 121# |
| 競馬 | NHK（総合テレビ） | 中央競馬情報 | 831# |
| 宝くじ | NHK（総合テレビ） | 宝くじ情報 | 803# |
| 料理 | NHK（総合テレビ） | ザ・クッキング | 703# |
| ニュース | NHK（総合テレビ） | 災害情報119 | 119# |

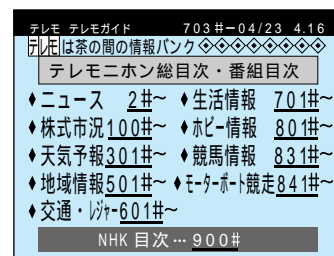
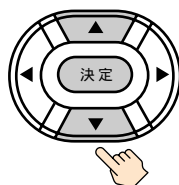
## 目次番組を使う

モジネットにはチャンネルごとに、目次番組が組まれていて、どんな番組があるのか知ることができます。見たいモジネットの番組を探すときなどには、目次番組を利用することをおすすめします。

### 1 目次ボタンを押し、次に見たいチャンネルのボタンを押す。

選んだチャンネルの目次番組が表示されます。

10キー選局のとき（☞48ページ）は目次ボタンを押し、チャンネル番号を入力して12／選局ボタンを押します。

### 2 ▲／▼ボタンを押して見たい番組を選び、決定ボタンを押す。

テレモ テレモガイド 703#ー04/23 4.16
テレモは茶の間の情報バンク◇◇◇◇◇◇◇◇◇
テレモニホン総目次・番組目次
◆ニュース 2#~ ◆生活情報 701#~
◆株式市況100#~ ◆ホビー情報 801#~
◆天気予報301#~ ◆競馬情報 831#~
◆地域情報501#~ ◆モーターボート競走841#~
◆交通・レジャー601#~
NHK 目次… 900#

**（目次画面の例）**

目次番組のページを送りたいときは、ページ<／>ボタンを押してください。

**カーソル表示について**
- 目次以外の文字番組においても番組番号があればカーソル表示します。
- 表示される画面によっては、カーソルが正しく表示されないことがあります。

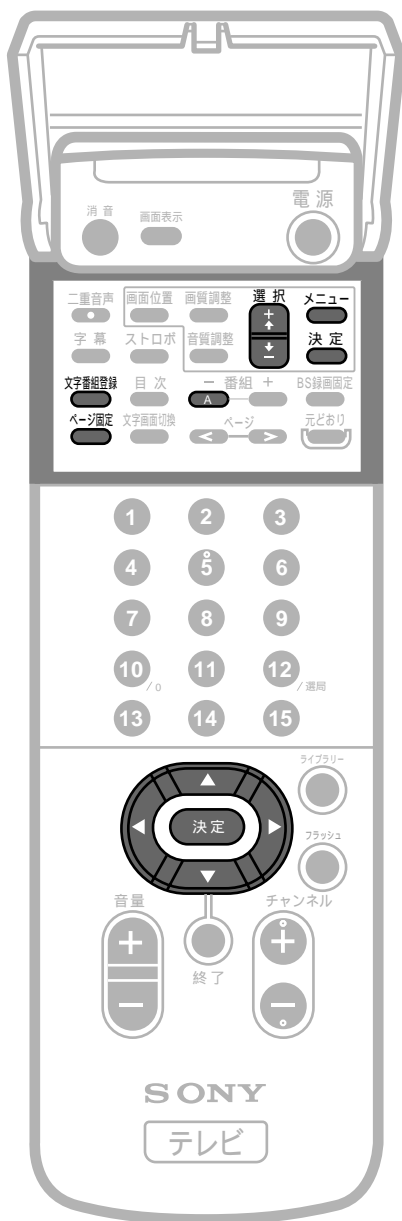
## 番組＋／ーボタンで番組を選ぶ

モジネットの番組を見ているときに、番組＋／ーボタンを押して、見たい番組を選びます。

**モジネットの番組を順方向に選ぶことができます。**

**モジネットの番組を逆方向に選ぶことができます。**

# モジネットを楽しむ（つづき）

### ご注意

「テレビ設定」（☞46ページ）を変更すると、それまでのモジネットの番組が正しくメモリーされなくなる場合があります。

### 見たいページに固定するには

モジネットの番組のページは約20秒経つと自動的に次ページに切り換わります。見たいページを固定したいときは、ページ固定ボタンを押してください。
同じページが表示され続けますが、内容は更新されます。
天気、株式、オッズなどで見たいページを出し続けるのに便利です。

### フラッシュやライブラリーの番組を常時更新しておくには

1 メニューボタンを押す。
2 選択+／−ボタンを押して「文字」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択+／−ボタンを押して「文字メモリー」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択+／−ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

本体の電源がスタンバイのとき、本体前面の文字メモリーランプが点灯し、自動的に最新の情報に更新されます。ただし、本体の電源スイッチを切った場合はメモリーの内容は消えてしまいます。

## 呼び出し時間について

本機は、モジネット画面を即時に呼び出せるように、大容量メモリー（記憶素子）を内蔵しています。通常は、ご覧のチャンネルの文字放送はすばやく表示することができます。メモリー容量の空きが無くなったときは、自動的に古い情報を消去して最新情報を記憶します。

### モジネット用番組メモリー容量

| | メモリー容量 |
|---|---|
| フラッシュ | 約24ページ×4番組 |
| ライブラリー | 約24ページ×8番組 |
| 目次番組 | 約32ページ<br>（チャンネルを切り換えたときはデータは初期化します。） |
| 一般番組 | 約32ページ（番組を選んだ後のメモリー容量です。）<br>（チャンネルを切り換えたときはデータは初期化します。） |

**本体の電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は**

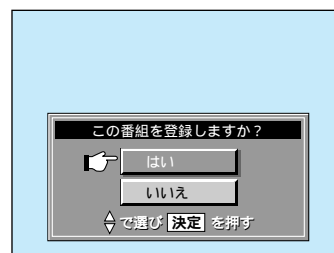
文字情報が蓄積されていませんので、モジネットを選んでもすぐに出ないことがあります。しばらくそのチャンネルでテレビ放送を受信していると文字情報が蓄積されて表示できるようになります。

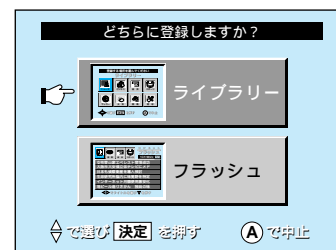
## フラッシュやライブラリーの登録を変更するには

よく見る番組を登録しておくと便利です。
（例）ライブラリーの登録を変える

### 1 登録したいモジネットの番組を画面に映す。☞25ページ。

### 2 文字番組登録ボタンを押す。

「この番組を登録しますか？」という表示が出、背景にそのモジネットの番組が表示されます。

### 3 ▲／▼ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。

「どちらに登録しますか？」という表示が出ます。

### 4 ▲／▼ボタンを押して「ライブラリー」を選び、決定ボタンを押す。

フラッシュの登録を変更するときは「フラッシュ」を選んでください。

**番組によってはフラッシュやスクロール（☞29ページ）に表示されないことがあります**

- 全ページが2 ページ以下の番組はフラッシュに登録しても、フラッシュによる文字情報（見出し項目）の表示はできません。
- スクロール形態の番組はフラッシュに登録しても、フラッシュによる文字情報（見出し項目）の表示はできません。
- フラッシュやスクロールなどの表示は、本機で加工して表示しています。そのため、放送内容によっては、文字が欠けたり、グラフィック（図形やイラストなど）の一部が表示されることがあります。このときは、その番組を「ライブラリー」に登録することをおすすめします。
- 見出しのない番組はフラッシュに表示されません。

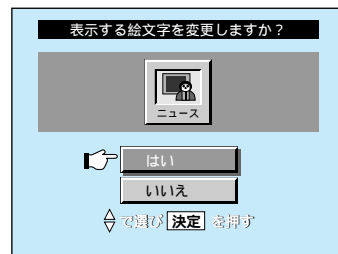
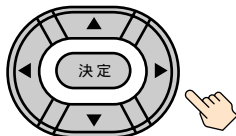
**「Ⓐで中止」という表示が出ているときは**

「A」ボタンを押すと、操作を中止してもとの画面に戻ります。

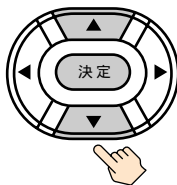
# モジネットを楽しむ（つづき）

## 5

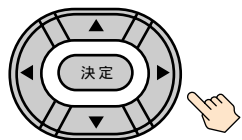
### ◀／▶／▲／▼ボタンを押して登録する場所を選び、決定ボタンを押す。

「番組を登録しました」と表示され、約2秒後に「表示する絵文字を変更しますか」という表示に変わります。

## 6

### ▲／▼ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。

絵文字を変更しないときは「いいえ」を選んでください。登録が終了し最初のモジネットの番組の画面に戻ります。

## 7

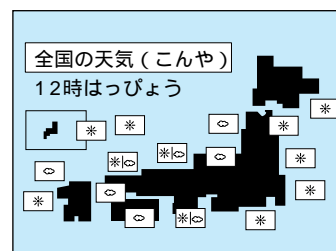
### ◀／▶／▲／▼ボタンを押して絵文字を選び、決定ボタンを押す。

30種類の絵文字の中からお好きなものを選んでください。

**モジネット番組の登録をお買い上げ時の状態に戻すには**

1　本体の設定ボタンを押す。
2　選択＋／－ボタンを押して「初期設定」を選び、リモコンのフタの中の決定ボタンを押す。
3　選択＋／－ボタンを押して「文字番組登録初期化」を選び、リモコンのフタの中の決定ボタンを押す。
4　▲／▼ボタンを押して「はい」を選び、リモコン下部の決定ボタンを押す。

テレビ画面に戻ります。
初期化が終わると「文字番組登録初期化を実行しました」と表示されます。

## テレビ放送と同時にモジネットを見るには

### 1 モジネットの番組を画面に映す。

（1画面）

### 2 文字画面切換ボタンを押す。

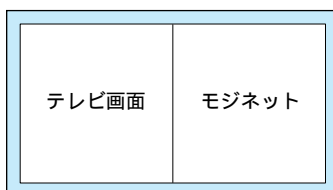
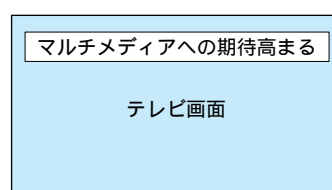
押すたびに以下のように切り換わります。
スクロール（フラッシュのみ）→ 1画面 →ツインピクチャー
↑_______________________________________|

**ツインピクチャー**

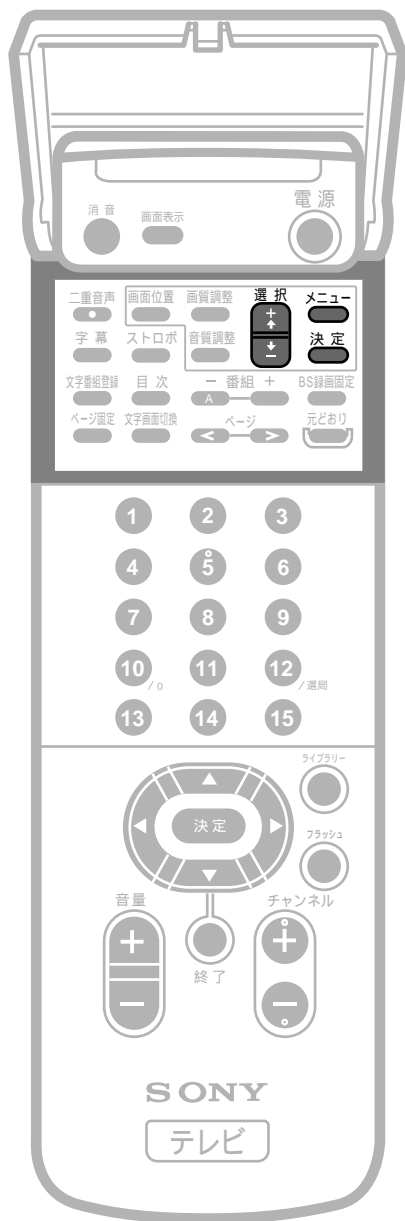
テレビ画面 | モジネット

**スクロール**

マルチメディアへの期待高まる

テレビ画面

ツイン1またはツイン2の切り換えは☞11ページ。

**ご注意**
- スクロールは、フラッシュの見出し項目を選択したあとで初めて表示できます。
- 親子画面では、モジネットを見ることはできません。

つづく

## スクロールの位置を選ぶ

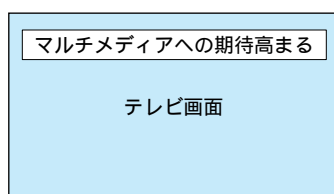
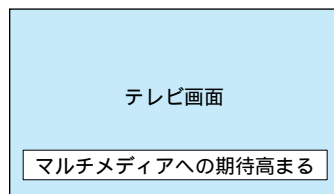
☞29ページの手順2でスクロールを選んだ場合はスクロールの位置を選ぶことができます。

**1** メニューボタンを押す。
**2** 選択＋／ーボタンを押して「文字」を選び、決定ボタンを押す。
**3** 選択＋／ーボタンを押して「スクロール位置」を選び、決定ボタンを押す。
**4** 選択＋／ーボタンを押して「上」または「下」を選び、決定ボタンを押す。

**スクロール上**

マルチメディアへの期待高まる
テレビ画面

**スクロール下**

テレビ画面
マルチメディアへの期待高まる

**5** メニューボタンを押してメニューを消す。

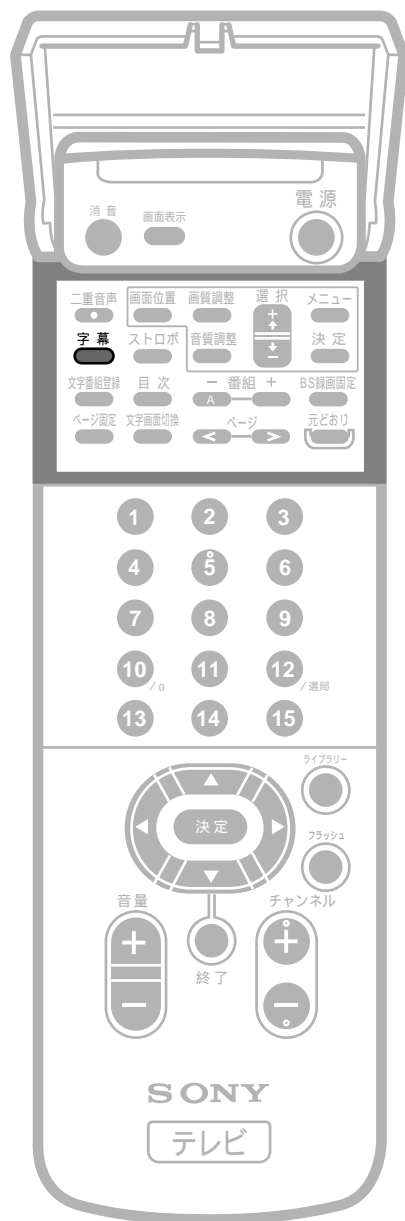
## モジネットのみを見たいときは

☞29ページの手順2で1画面にしてください。

## 1画面のときの画面モード（ノーマル／フル）を選ぶことができます

**1** メニューボタンを押す。
**2** 選択＋／ーボタンを押して「文字」を選び、決定ボタンを押す。
**3** 選択＋／ーボタンを押して「文字一画面」を選び、決定ボタンを押す。
**4** 選択＋／ーボタンを押して「ノーマル」または「フル」を選び、決定ボタンを押す。
**5** メニューボタンを押してメニューを消す。

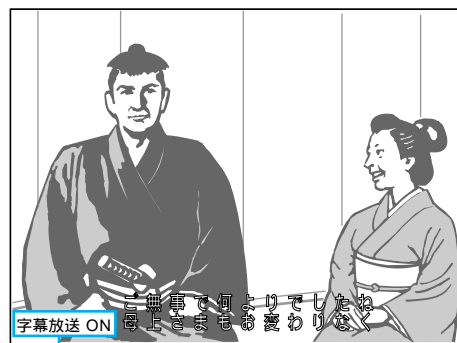
次回、モジネットを1画面で見るときは選んだ画面モードでご覧になれます。

# 字幕放送を見る



テレビ番組によってはせりふなどを字幕で放送しているものがあります。字幕放送はモジネットの一種で、すべてのチャンネルで番組番号が決まっています（番組番号#999）。

## 字幕を見るには

お買い上げ時は、字幕の設定は「手動」になっています。

### 字幕ボタンを押してください。

数秒たつと消える

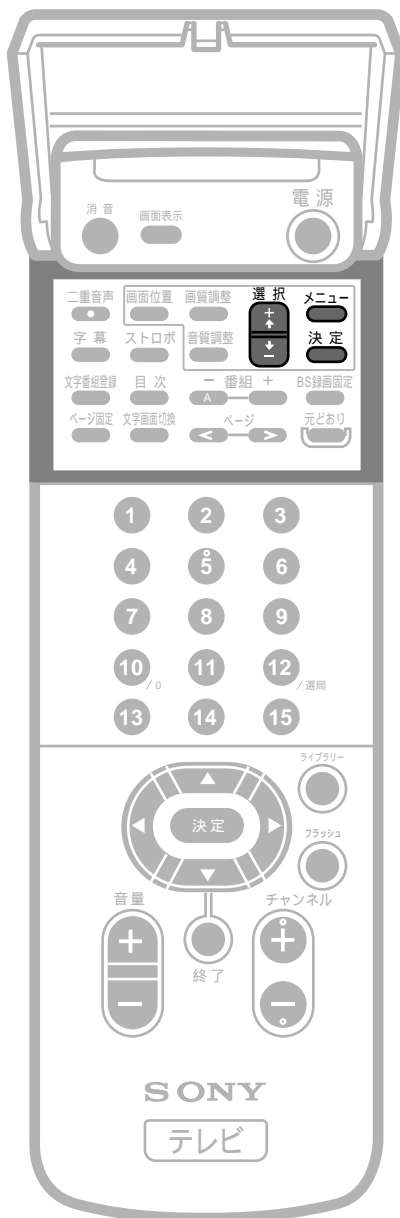
押すたびに「字幕放送ON」と「字幕放送OFF」が切り換わります。
「字幕放送ON」：字幕放送が始まると字幕を表示します。
「字幕放送OFF」：字幕放送中でも字幕を表示しません。

**ご注意**
衛星放送での字幕放送には対応していません。

つづく

# 字幕放送を見る（つづき）

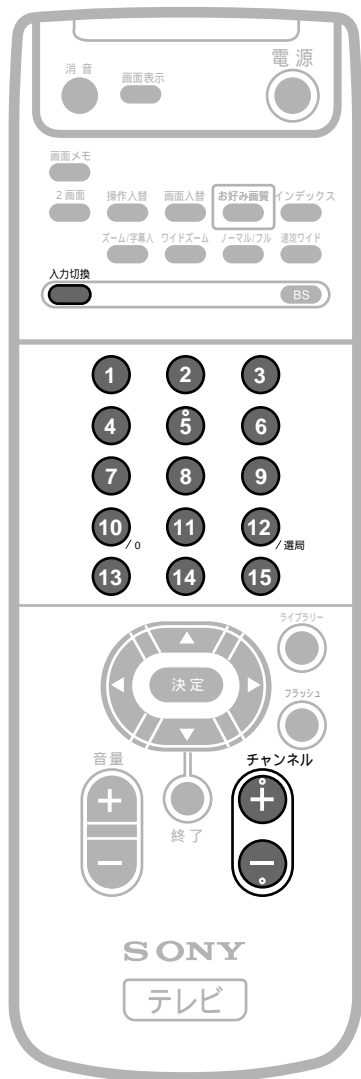
**字幕ボタンで「字幕放送ON／OFF」を切り換えるには**
右の手順4で「手動」を選んでください。
「自動」に設定されているときは字幕ボタンを押して一時的に「字幕放送OFF」にしても、次の字幕放送が始まったり、チャンネル切換などをすると「字幕放送ON」の状態にもどります。

**下記のものを見ているときは**
モジネット、2画面、チャンネルインデックス、ストロボを見ているときは字幕は表示されません。

## 字幕の設定を切り換えるには

**1** メニューボタンを押す。
**2** 選択＋／ーボタンを押して「文字」を選び、決定ボタンを押す。
**3** 選択＋／ーボタンを押して「字幕放送」を選び、決定ボタンを押す。
**4** 選択＋／ーボタンを押して「自動」または「手動」、「切」を選び、決定ボタンを押す。
下記の表を見て選んでください。

| 設定 | 字幕放送が送られているときは | 字幕ボタンを押すと |
|---|---|---|
| 自動 | 字幕が表示される | 一時的に字幕放送OFFになる |
| 手動： | | |
| 字幕放送ON | 字幕が表示される | 字幕放送OFFになる |
| 字幕放送OFF | 字幕は表示されない | 字幕放送ONになる |
| 切 | 字幕は表示されない | 変わらない |

**5** メニューボタンを押してメニューを消す。

# ビデオなどを見る



## 1 入力切換ボタンを押してビデオ機器をつないである入力を選ぶ。

押すたびに下記のように切り換わります。

ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→テレビ

ビデオ1

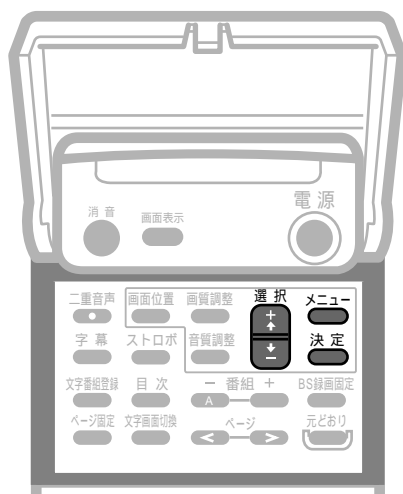
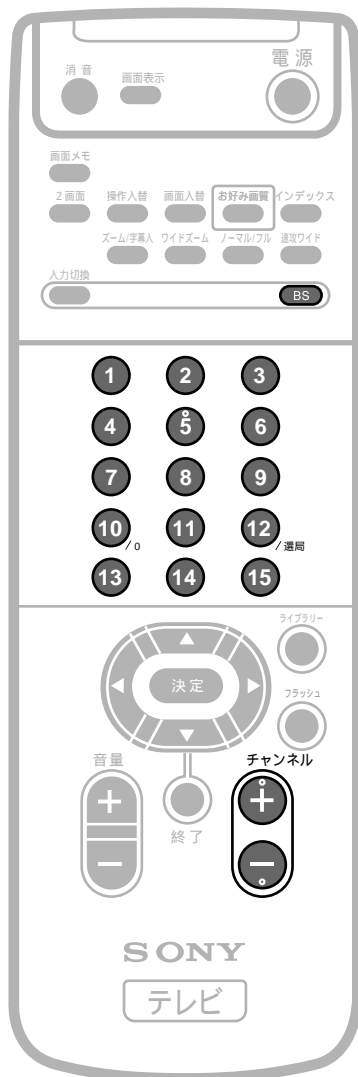
## 2 ビデオ機器の再生ボタンを押す。

詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

### テレビ画面に戻すには

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋／ーボタン、入力切換ボタンを押してください。

# 有料の衛星放送を見る

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

有料の衛星放送を見るには、BSデコーダー☆の接続（☞53ページ）が必要です。

**1** BS**デコーダーの電源を入れる。**

**2** **チャンネルボタンを押して、チャンネルを選ぶ。**

**（例）**WOWOW**を見るには**

**または**

## 独立音声を聞くには

1997年6月現在、独立音声放送☆はBS5チャンネル (St.GIGA) でのみ放送されています。(St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。）

**1** メニューボタンを押してメニューを出す。
**2** 選択＋／－ボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
**3** 選択＋／－ボタンを押して「TV／独立音声」を選び、決定ボタンを押す。
**4** 選択＋／－ボタンを押して「独立」を選び、決定ボタンを押す。
スクランブル☆がかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。
**5** メニューボタンを押してメニューを消す。

**ご注意**
BSデコーダーを接続して有料の衛星放送を見ているとき、音声モードは表示されません。
音声モードの切り換えは、デコーダー側で行ってください。
また、このとき受信チャンネルは水色で表示されます。

# 画質／音質を調整する



部屋の明るさや番組に合わせて、4種類の画質／音質を選ぶことができます。

## 部屋の明るさに合わせて画質を選ぶ

### お好み画質ボタンを押す。

押すたびに、画質／音質は下記の順に変わります。

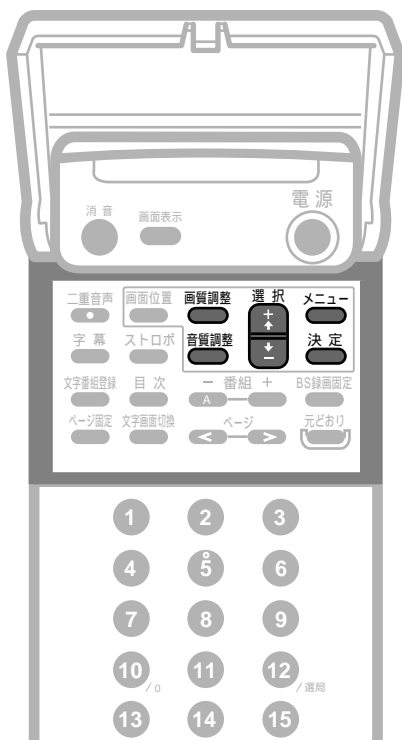
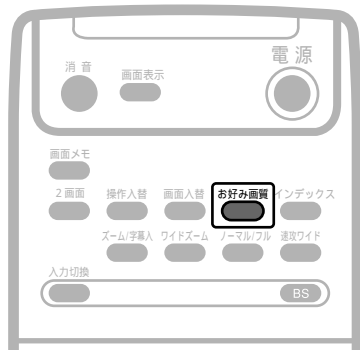
| | |
|---|---|
| **●ダイナミック** | 明るい部屋で、明暗のはっきりしたメリハリのある映像を見たいとき |
| **●スタンダード** | ふつうの明るさの部屋で、くっきりした映像を見たいとき |
| **●リビング** | ご自分で基本的な画質／音質を設定して楽しみたいとき（設定のしかたは、☞36〜37ページ） |
| **●AVプロ** | ご自分で専門的な画質まで設定して楽しみたいとき（設定のしかたは、☞36〜37ページ） |

**ご注意**
「ダイナミック」、「スタンダード」での画質／音質は調整できません。

### 通常、ご家庭でご覧になるときは

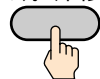
「リビング」の「画質調整」、「音質調整」を「標準」にしておくことをおすすめします。

つづく

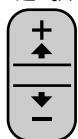
# 画質／音質を調整する（つづき）

**「リビング」、「AVプロ」の画質／音質設定について**
テレビ、BS、ビデオ1、2、3入力それぞれについて画質／音質を設定することができます。

## お好みの画質に調整する

「リビング」、「AVプロ」のときは画質をお好みに合わせて調整し、記憶させることができます。

### 1 お好み画質ボタンを押して、「リビング」または「AVプロ」の画面にする。

### 2 画質調整ボタンを押す。

**ご注意**
- 手順1の操作を行わなくても、画質調整ボタンを押すと画質調整画面に切り換わります。
- このとき、「ダイナミック」または「スタンダード」にしていたときは「リビング」に自動的に切り換わります。

### 3 選択＋／－ボタンを押して調整する項目に▶を合わせ、決定ボタンを押す。

AVプロのときのみさらに下記の項目を調整できます

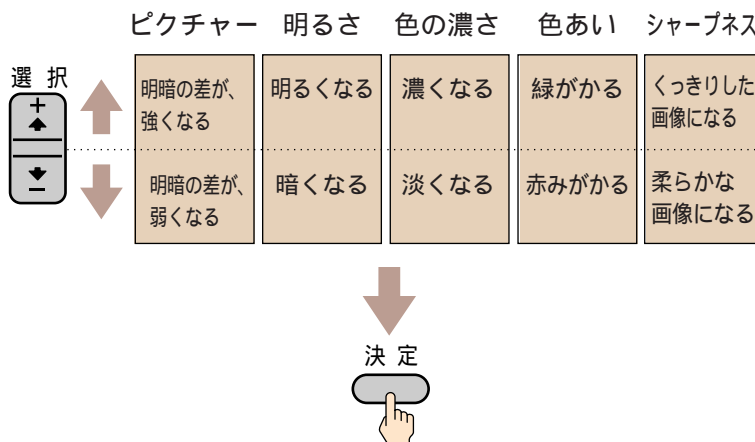
| | |
|---|---|
| VM（ベロシティモジュレーション）(速度変調) | 輪郭を強調します。強／弱／切から選びます。 |
| 色温度 | 「低」を選ぶと、赤みがかった、暖かみのある色調になります。「高」または「低」を選びます。 |
| H（ハイパー）ホワイト | 白色の鮮明さを強調します。「入」または「切」を選びます。 |
| 黒補正 | 黒を強調してコントラストを強くします。「入」または「切」を選びます。 |

**画質／音質を標準（お買い上げ時）の状態にするには**
それぞれの調整項目の一番下にある「標準」を選び決定ボタンを押します。

**ご注意**
「ダイナミック」または「スタンダード」にしているときに音質調整ボタンを押すと、「リビング」に自動的に切り換わります。

**ヘッドホンをつないで音質を調整しても**
ヘッドホンの音質は調整されません。ヘッドホンを抜いた後、スピーカーから調整された音声が出ます。なお、ヘッドホンの音量は音量＋／－ボタンで調節できます。

## 4 選択＋／－ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

| 選択 | ピクチャー | 明るさ | 色の濃さ | 色あい | シャープネス |
|---|---|---|---|---|---|
| ＋ | 明暗の差が、強くなる | 明るくなる | 濃くなる | 緑がかる | くっきりした画像になる |
| － | 明暗の差が、弱くなる | 暗くなる | 淡くなる | 赤みがかる | 柔らかな画像になる |

**ご注意**
「AVプロ」で「ピクチャー」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」以外の項目を調整したいときは、選択－ボタンを押して▶を「標準」の下まで移動させてください。

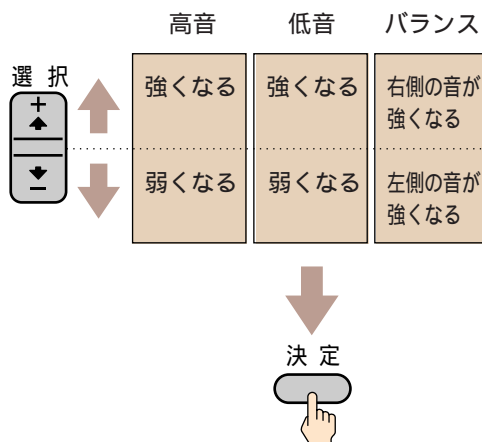
## 5 手順3と4を繰り返して、他の項目を調整する。

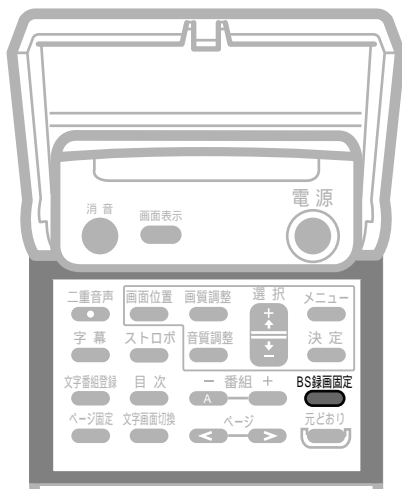
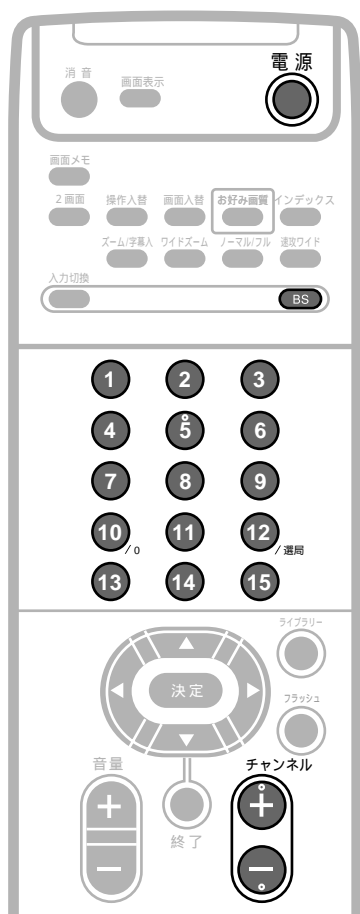
## 6 画質調整ボタンを押してメニューを消す。

# お好みの音質に調整する

画質と同様、音質もお好みに合わせて調整し、「リビング」、「AVプロ」に記憶させることができます。画質調整ボタンのかわりに、**音質調整ボタン**を押すと、下記の項目が調整できます。

| 選択 | 高音 | 低音 | バランス |
|---|---|---|---|
| ＋ | 強くなる | 強くなる | 右側の音が強くなる |
| － | 弱くなる | 弱くなる | 左側の音が強くなる |

操作編

# 衛星放送を録画する

テレビのBSチューナー☆を使って、衛星放送をビデオに録画することができます。
この場合、必ず「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。
☞59ページ

## 見ながら録画する

**1　録画したい衛星放送の番組をテレビに映す。**

**2　ビデオデッキを操作する。**
ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（またはライン入力）にし、録画を始めてください。

### 裏番組を録画するには

テレビ（VHF、UHF、CATV）やビデオを見ながら、衛星放送を録画することができます。このとき、録画している番組を誤って切り換えないよう、下記の操作を行ってください。

**1**　録画したい番組をテレビに映す。
**2**　BS録画固定ボタンを押す。

BSチューナー部のチャンネルと音声が固定されて、他のBSのチャンネルに切り換わらなくなります。
BS録画固定をしたあとは、リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、BS録画固定をしてから48時間電源が入った状態になります。
BSの他のチャンネルを見るにはBS録画固定ボタンを再度押してください。BS録画固定が解除されます。

**ご注意**
BS録画固定の操作は衛星放送のチャンネルを選んでいるときにのみできます。

**独立音声を録音するには**
各種切換メニューから「TV／独立音声」を選んで「独立」にしてください（☞34ページ）。スクランブル☆放送のときは、デコーダー☆側で独立音声を選んでください。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。
☞67ページ。

## 予約録画する

48時間以内の番組を簡単に予約録画することができます。

**1　録画したい衛星放送のチャンネルをテレビに映す。**

**2　ビデオデッキで録画を予約する。**

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（ライン入力）にしてください。

**3　BS録画固定ボタンを押す。**

**4　リモコンで電源を切る。**

**BS電源ランプが点灯したままになります。**

**ご注意**

- テレビ本体の電源スイッチでテレビを消すと録画できなくなります。
- スクランブル☆のかかった放送を録画するときは、デコーダー☆の電源を入れたままにしてください。

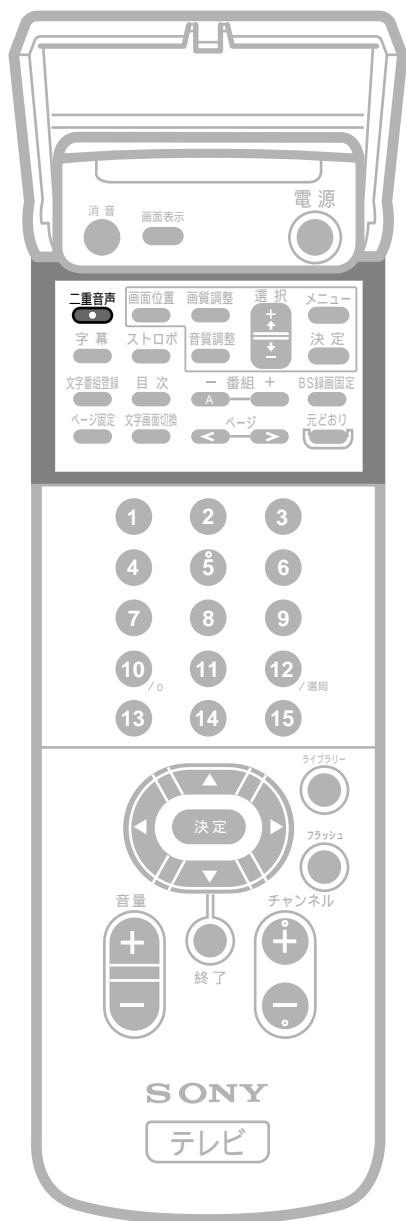
### BS録画固定を解除するには

もう一度、リモコンで電源を入れた後衛星放送のチャンネルを選び、BS録画固定ボタンを再度押します。

**ご注意**

- BS録画固定をすると、BSのチャンネルは固定されます。
- BS録画固定ボタンを押してから、またはタイマーメニューの「BS録画固定」を「入」に設定してから、約48時間後にBS電源は自動的に切れます。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

# 音声を切り換える

二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声＋副音声のいずれかを選ぶことができます。

**二重音声ボタンを繰りかえし押して、選ぶ。**

**二重音声**

**「主／副」を選んだとき**

| 画面表示 | 左スピーカーの音声 | 右スピーカーの音声 |
|---|---|---|
| 主 | 主音声 | 主音声 |
| 副 | 副音声 | 副音声 |
| 主／副 | 主音声 | 副音声 |

**ご注意**

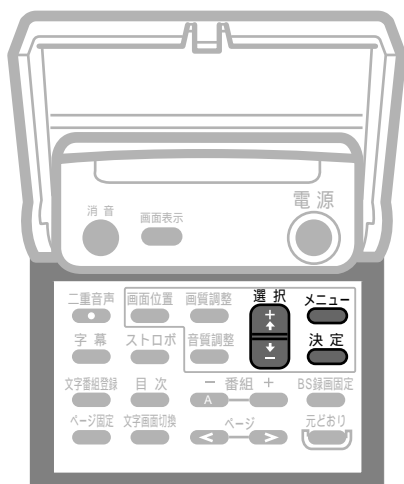
2画面、親子画面のときは操作画面の音声が切り換わります。

## VHF／UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

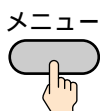
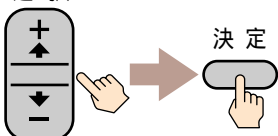
音声をモノラルにして雑音を軽減することができます。

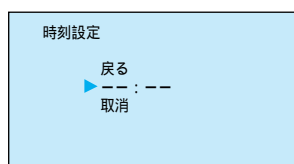
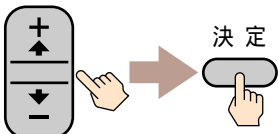
1. 本体の設定ボタンを押す。
2. 選択＋／−ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。
3. 選択＋／−ボタンを押して「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
4. 選択＋／−ボタンを押して「切」にして決定ボタンを押す。
5. 設定ボタンを押す。

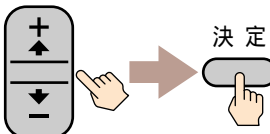
「オートステレオ」を「切」にすると、VHF／UHFのすべてのチャンネルの音声がモノラルになります。ステレオでお聞きになるときは「オートステレオ」を「入」に戻してください。

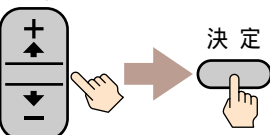
# 時計を使う

## 時計を表示する

昼の12時も夜の12時も0:00と表示されます。

**1** **メニューボタンを押す。**

**2** **選択＋／－ボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。**

タイマー　戻る
▶スリープ：　切
BS録画固定：切
時刻設定
時刻表示：　切

**3** **選択＋／－ボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。**

**4** **▶が－－：－－の横にあることを確認して、決定ボタンを押す。**

時刻設定
戻る
▶ 0：00
取消

**5** **時刻を設定する。**

時→分の順に設定します。選択＋／－ボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押して、時刻を設定します。

**6** **選択＋／－ボタンを押して「時刻表示」を選び、「入」にして、決定ボタンを押す。**

**7** **メニューボタンを押してメニューを消す。**

時刻が表示されたままになります。

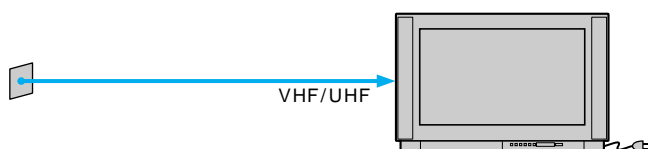
**タイマーで電源を切る**

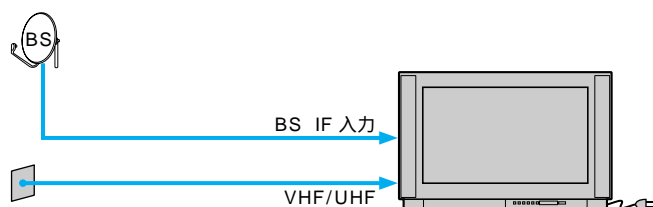
テレビをつけたままおやすみになっても、「スリープ」を「入」にしておけば約1時間後にテレビが消えます。

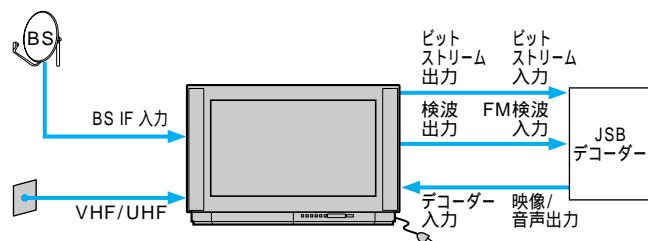
1　メニューボタンを押す。
2　選択＋／－ボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択＋／－ボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す。
4　選択＋／－ボタンを押して、「入」を選び、決定ボタンを押す。本体のスタンバイ／スリープランプが点灯します。
5　メニューボタンを押してメニューを消す。

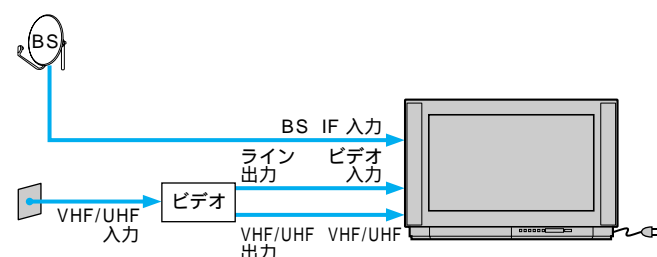
# 準備早わかり

受信する放送の種類や接続する機器によって準備のしかたが異なります。
下の例を参考に準備をしてください。

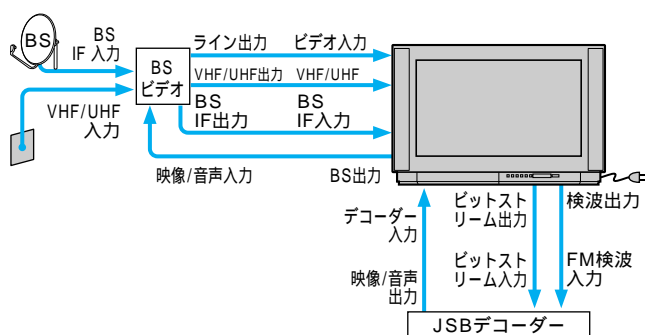
## テレビ

1 テレビアンテナをつなぐ☞44ページ
2 電源をつなぐ
3 テレビチャンネルを設定する☞46ページ

## テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2）

1 テレビアンテナをつなぐ☞44ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞50ページ
3 電源をつなぐ
4 テレビチャンネルを設定する☞46ページ
5 BS受信の設定をする☞51ページ

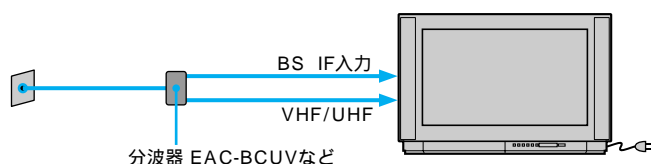
## テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）

1 テレビアンテナをつなぐ☞44ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞50ページ
3 JSBデコーダーをつなぐ☞53ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞46ページ
6 BS受信の設定をする☞51ページ
7 BSデコーダーを設定する☞54ページ

## テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2）＋ビデオ

1 テレビアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞44、57ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2 BSアンテナをテレビにつなぐ☞50ページ
3 ビデオデッキをテレビにつなぐ☞57ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞46ページ
6 BS受信の設定をする☞51ページ

衛星放送を録画する場合は、「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。☞59ページ

## テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）＋BSビデオ

1. テレビ／BSアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞44、50、57ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2. JSBデコーダーをテレビにつなぐ☞53ページ
3. ビデオデッキをテレビにつなぐ☞57ページ
4. 電源をつなぐ
5. テレビチャンネルを設定する☞46ページ
6. BS受信の設定をする☞51ページ
7. BSデコーダーを設定する☞54ページ

## マンションなどの共同受信システムの場合

マンションなどでは、部屋のアンテナ端子ひとつでテレビ、BSを受信できる場合があります。

1. 分波器を使ってテレビ／BSアンテナをつなぐ☞50ページ
2. 電源をつなぐ
3. テレビチャンネルを設定する☞46ページ
4. BS受信の設定をする☞51ページ

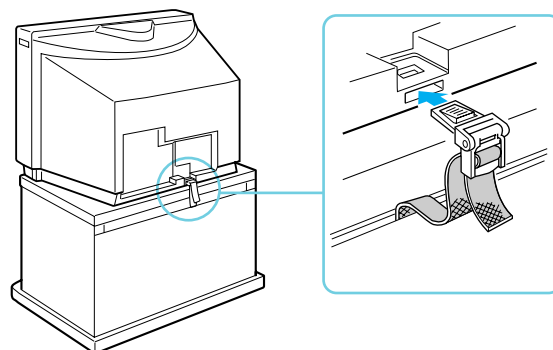
## ケーブルテレビの場合

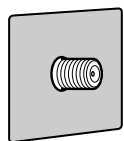
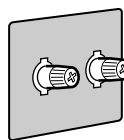
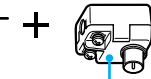
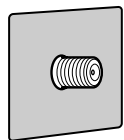
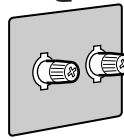
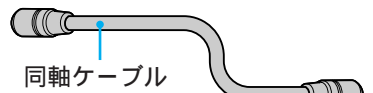
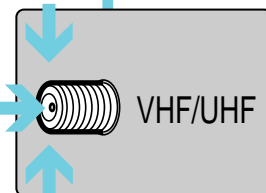
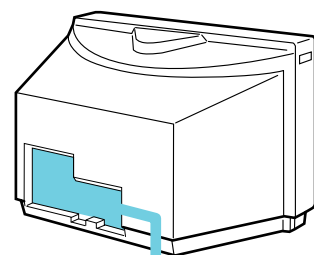
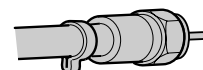
ケーブルシステムによって準備のしかたが異なりますので、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

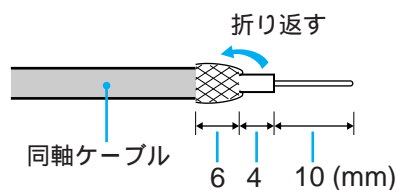
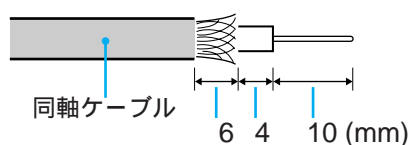
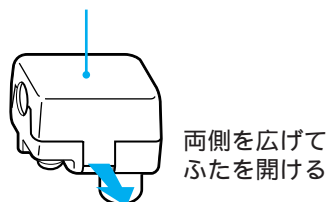
## テレビの転倒を防ぐために

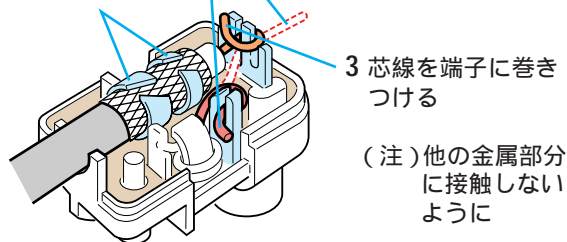
お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。下記の別売り品を使用してテレビの転倒を防いでください。

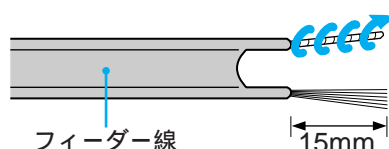
- テレビラック固定ベルト　　BLT-R10
- テレビラック固定ベルト付属のテレビスタンド
  SU-32F1、SU-32V、SU-F300

準備編

# テレビアンテナをつなぐ

アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、接続してください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

## A 同軸ケーブルにアンテナコネクターをつなぐ

1 3C-2Vの場合

5C-2Vの場合

2

3

4

## B フィーダー線にアンテナコネクターをつなぐ

1

2



## C V/Uミキサーをつなぐ

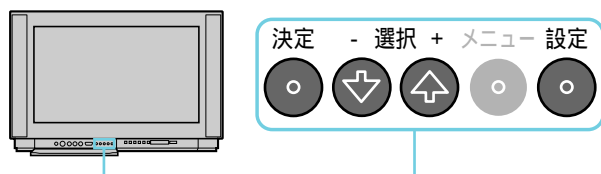
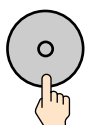
1

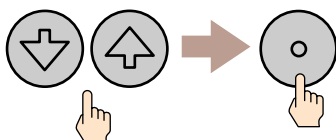
2

# チャンネルを自動設定する

現在ご覧になれるVHF／UHFの放送を、①から⑫のチャンネルボタンに自動的に割り当てます。衛星放送は⑬から⑮のボタンにあらかじめ割り当ててありますので設定しなくてもご覧になれます。

## 1 設定ボタンを押す。

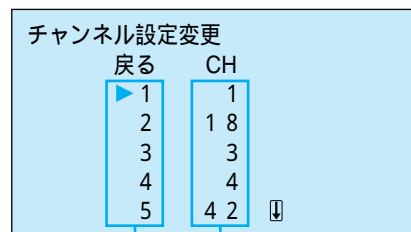
設定

▶設定　終了
テレビ設定
ＢＳ設定
初期設定

## 2 選択＋／−ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

テレビ設定　戻る
▶自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　　UHF
選局：　ダイレクト

## 3 「自動CH設定」が選ばれていて、「入」になっていることを確認して決定ボタンを2回押す。

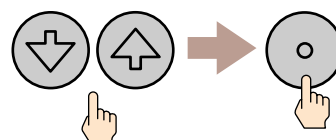
決定

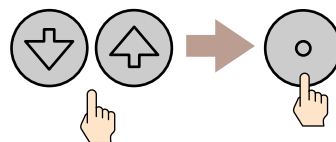
自動的に設定が始まります。

設定が終わると、下の画面に変わります。

## 4 設定されたチャンネルを確認し、必要があれば変更する。

5より大きい番号を確認するには、▶を画面の下まで動かします。

### 変更するには

1 選択＋／−ボタンを押して変更したい数字（リモコンの数字ボタン）を選び、決定ボタンを押す。

設定されたチャンネルが映ります。

2 選択＋／−ボタンを押して設定されたチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。

3 手順1と2をくり返して、他のチャンネルを変更する。

## 5 設定ボタンを押してメニューを消す。

**チャンネル設定を中断するには**
「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押す。

**UHFのチャンネル番号について**
地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

## 設定されたチャンネルを変更するには

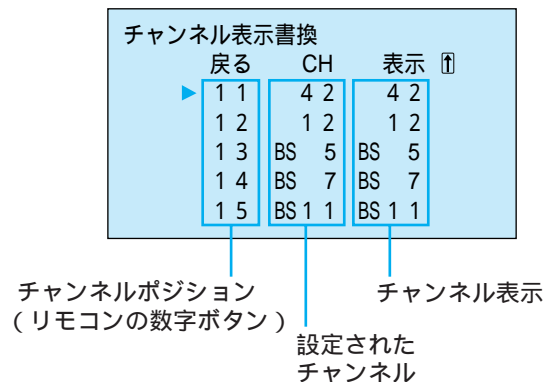
1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
4 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、チャンネルを変更する。
5 設定ボタンを押してメニューを消す。

## ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビはサービスの行われている地域のみで見ることができ、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
6 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、ケーブルテレビのチャンネルを設定する。
 ケーブルチャンネルは、表示の前に「C」が付きます。
 例：C24
7 設定ボタンを押してメニューを消す。

## チャンネル表示を書き換えるには

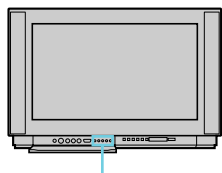
1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

4 表示を書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して、チャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。
6 設定ボタンを押してメニューを消す。

**ご注意**
- 複数のチャンネルを一つのチャンネル表示にしたり、一つのチャンネルに複数のチャンネル表示をつけることはできますが、チャンネルと表示が1対1で対応する表示のつけかたをおすすめします。
- BSのチャンネル表示を変更することはできません。

## 放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋／ーボタンを押したときや、チャンネルインデックスをしたときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定することができます。

1 「チャンネルを自動設定する」の手順4の1で、放送のないチャンネルや見ないチャンネルを選ぶ。
2 選択＋／ーボタンを押して、「CH」を「0」にする。
3 設定ボタンを押してメニューを消す。

準備編

# 10キー選局にする

## 10キー選局とは

数字ボタンを押すと、通常は対応するチャンネルが映ります（「ダイレクト選局」）が、この方法で見られるチャンネルの数は15までです。見たいチャンネルの数が15を越えるときは「10キー選局」に切り換えてください。「10キー選局」にすると、リモコンの数字ボタンを組み合わせてお好きなチャンネルを選ぶことができます。

**例）24チャンネル**

**10チャンネル**

**BS7チャンネル**

数字ボタンの10と12は以下の働きになります。

……0を入力する

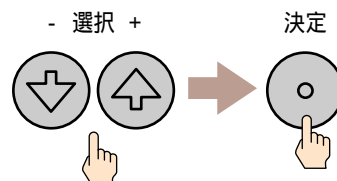
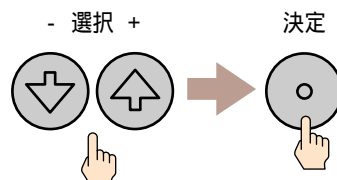
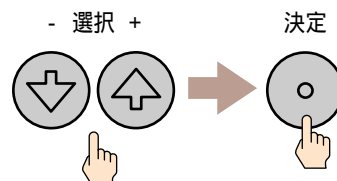
12 /選局 ……選局ボタン

## 10キー選局に切り換える

**1 設定ボタンを押す。**

設定

**2 選択＋／−ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

− 選択 ＋　　決定

**3 選択＋／−ボタンを押して「選局」を選び、決定ボタンを押す。**

**4 選択＋／−ボタンを押して「10キー」を選び、決定ボタンを押す。**

テレビ設定　戻る
自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　　　ＵＨＦ
▶選局：　　１０キー

**5 設定ボタンを押してメニューを消す。**

**ダイレクト選局に戻すには**

手順4で「ダイレクト」を選んでください。

**「自動CH設定」を行うには**

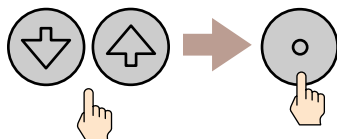
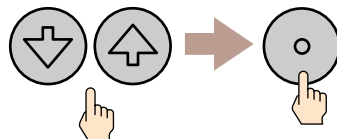
ダイレクト選局に戻してから行ってください。

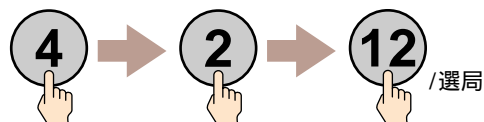
「チャンネルを自動設定する」☞46ページ。

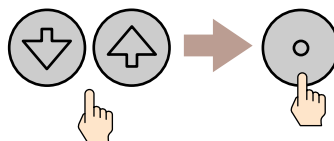
## チャンネル＋／－ボタンで選べる局を設定する

お買い上げ時はチャンネル＋／－ボタンで、1～12チャンネルとBS5、BS7、BS11チャンネルを選ぶことができます。
これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

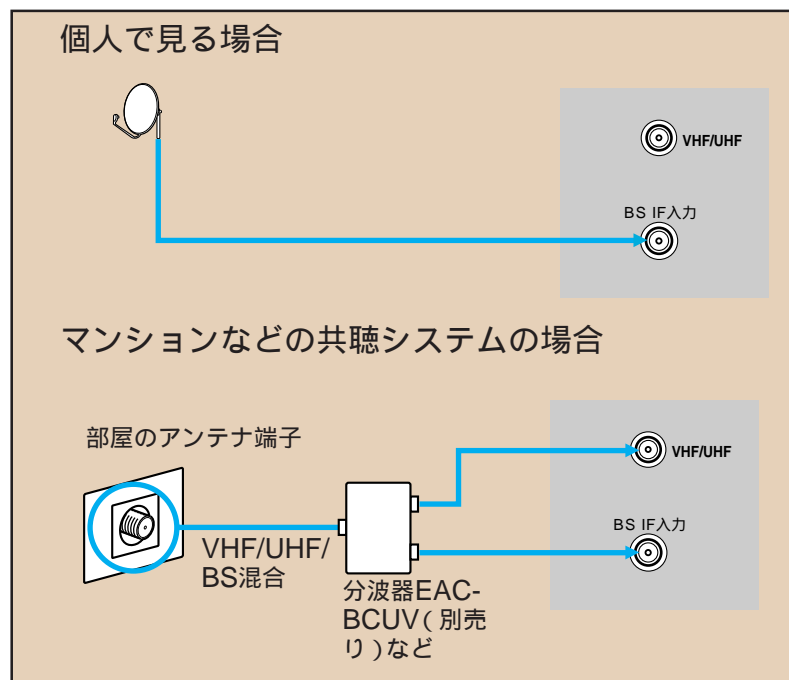
**1** **設定ボタンを押す。**

**2** **選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

**3** **選択＋／－ボタンを押して「 チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

**4** **見たいチャンネルまたはとばしたいチャンネルを選ぶ。**

**例）** 42**チャンネルなら**

**例）** BS7**チャンネルなら**

**5** **選択＋／－ボタンを押して、見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選ぶ。**

**6** **複数のチャンネルを設定する場合は、手順4と5を繰り返す。**

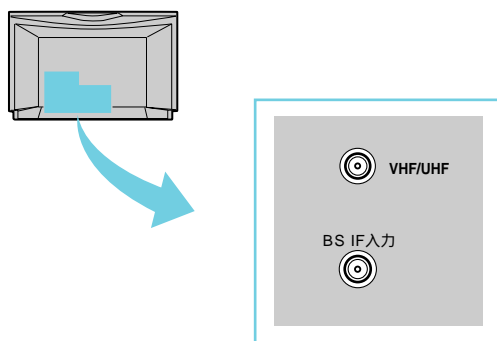
**7** **設定ボタンを押してメニューを消す。**

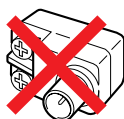
準備編

# BSアンテナをつなぐ

### BS受信用の別売り商品

- BSアンテナ
  SAN-37J2
  SAN-37K2SET
  SAN-50HD2
- アンテナ取り付け金具
  ANJ-K1（壁面タイプ）
  ANJ-B1（ベランダタイプ）
- BS分配器
  EAC-BC2
  EAC-BC4
- BS/UV混合分波器
  EAC-BCUV
- BS用ブースター
  BO-BC20
- 同軸ケーブル
  SAK-C10 (10m)
  SAK-C20 (20m)
  SAK-C30 (30m)

**アンテナ接続後は、「BS受信の設定をする」を行ってください。**☞51ページ

## ●アンテナをつなぐ端子はテレビ裏面にあります

**ご注意**

- ケーブル、アンテナコネクターは、BS専用のものをお使いください。
- VHF／UHFのアンテナコネクターは、BS用には使わないでください。

**ご注意**

BSアンテナケーブルをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。（工具を使うと、端子をいためることがあります。）

**受信状態について**

次のようなときは、BSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。

- 雷、豪雨、降雨、強風などの悪天候のとき
- アンテナに雪が付着しているとき
- 春分、秋分、日食など、太陽と地球と衛星が並んだとき（食のとき）
- 強風などで、アンテナの向きが変わったとき
  ☞52ページをご覧の上、アンテナを調整してください。

**サテライト分配器についてのご注意**

サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ（ソニーEAC-BC2またはEAC-BC4など）をお使いください。
サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

**BSコンバーター電源についてのご注意**

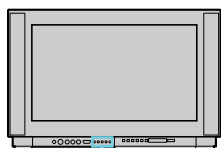
- BS IF入力端子はDC15Vの直流電圧が出ています。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。
- BS IF入力端子につないだ同軸ケーブルの芯線とコネクター部（周りの金属部分）がショートしないようにご注意ください。

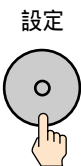
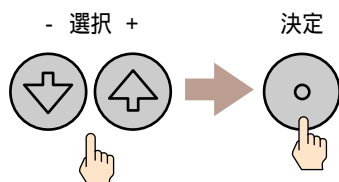
**「コンバーター電源を確認してください」という表示が出たら**

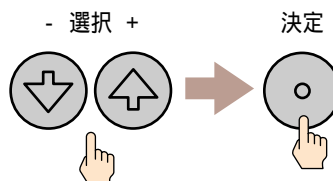
- マンションなどの共聴システムのときは、メニューの「BS設定」で、「BS電源」を「切」にしてから、いったん電源を切ってください。☞51ページ
- BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐに本体の電源スイッチで電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

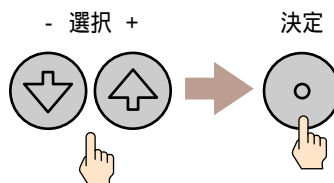
# BS受信の設定をする

BSアンテナをつないだときは、必要に応じて「BS設定」をしてください。

## BS電源を設定する

**1** BSのチャンネルにする。

**2** 設定ボタンを押す。

**3** 選択+／−ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

BSのときのみ選択できます。

**4** 選択+／−ボタンを押して「BS電源」を選び、決定ボタンを押す。

BS設定　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶BS電源：　オート

**5** 選択+／−ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせた設定に切り換え、決定ボタンを押す。

BS設定　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶BS電源：　連動

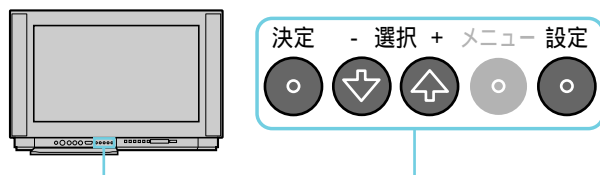
| 設定 | 内容 |
|---|---|
| ●オート | テレビがついているときに、テレビが自動的に判断して、BSコンバーターへ電源を供給します。テレビが切れているときは電源を供給しません。 |
| 切 | BSコンバーターへ電源を供給しません。マンションなどの共聴システムのときに選んでください。 |
| 連動 | テレビがついているときに、つねに、BSコンバーターへ電源を供給します。テレビが切れているときは電源を供給しません。BSアンテナでBSの映像が映ったり消えたりするときに選んでください。 |

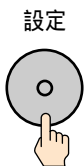
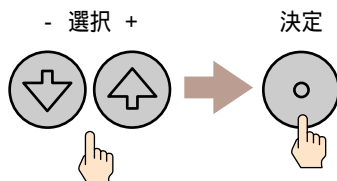
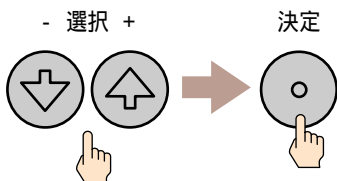
（●は、お買い上げ時の設定を示します。）

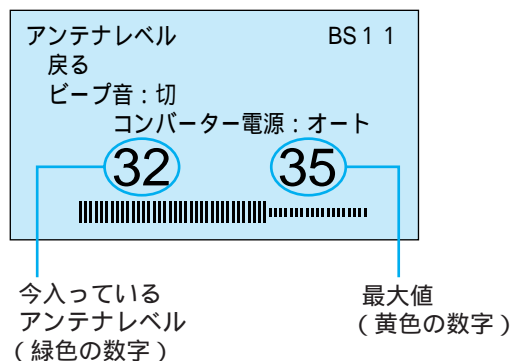
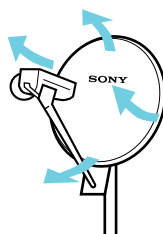
**6** 設定ボタンを押してメニューを消す。

準備編

## アンテナの角度を調整する

BSアンテナに直接つないだときは、アンテナの方向と角度を調整する必要があります。最良の調整ができるように、テレビの画面上の数字や音で確かめられるようになっています。

**1** 放送のあるBSのチャンネルを選ぶ。

**2** 設定ボタンを押す。

**3** 選択＋／－ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

**4** 選択＋／－ボタンを押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。

**5** アンテナを調整する。

アンテナレベル☆の数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。

「コンバーター電源」が「切」になっているときは、「BS電源」を「オート」または「連動」に設定してください。☞51ページ

**6** 調整が終わったら、設定ボタンを押してメニューを消す。

### 音を聞いて調整するには

テレビ画面で確認できないときに便利です。

**1** 手順4のあと、選択＋／－ボタンを押して「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。

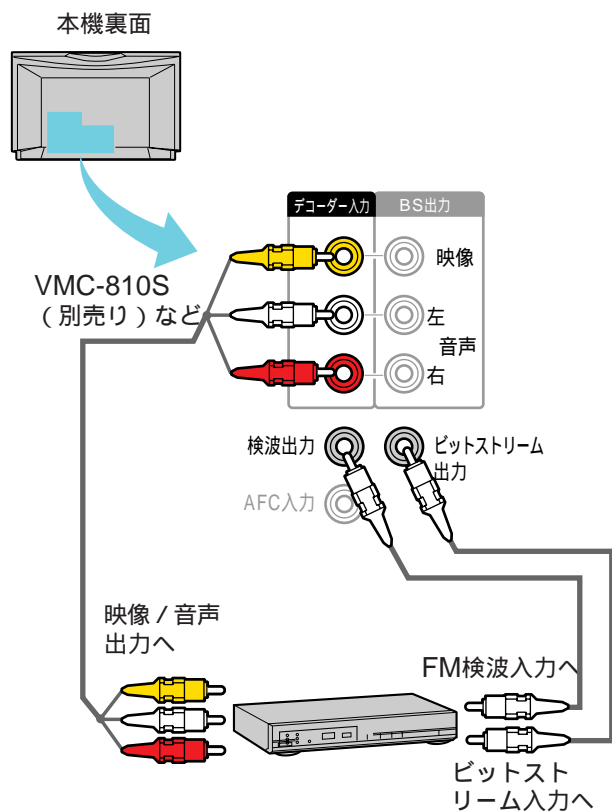
**2** 選択＋／－ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。

**3** 手順5で連続した最高音になるようアンテナを調整する。緑色の数値が大きいほど、高音になります。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

# BSデコーダーをつなぐ

有料の衛星放送を見るためには、デコーダー☆をつなぐ必要があります。詳しくはBSの放送会社にお問い合わせください。お買い上げ時は、スクランブル☆のかかった放送を受信すると、接続したBSデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。（デコーダー入力への自動切り換え機能）

## JSBデコーダー（WOWOW/St.GIGA）

### デコーダーのスイッチの設定

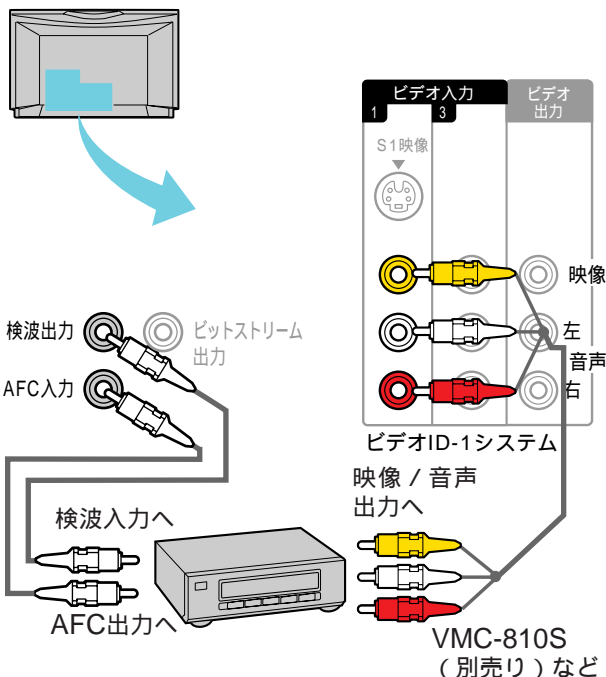
BSデコーダーの「検波／映像」切り換えスイッチを「検波」にしてください。

### 独立音声放送用デコーダーを接続する場合

デコーダー入力の音声端子のみ接続してください。

### ご注意

BSデコーダーは必ず、デコーダー入力端子に接続してください。デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力へ自動的に切り換わりません。

## MUSE-NTSCコンバーター☆（ハイビジョン）

ハイビジョン放送を見るときはハイビジョンのチャンネルにしてからMUSE-NTSCコンバーターを接続した入力（「ビデオ1」または「ビデオ2」、「ビデオ3」）に切り換えてください。

### デコーダー入力端子が空いている場合

ビデオ入力ではなくデコーダー入力端子に接続し、メニューの「デコーダー入力切換」で「BS9」の設定を「デコーダー」にしておけば、BS9チャンネルを選ぶだけで見ることができます。この場合、スクランブルのかかった放送（1997年6月現在、BS5チャンネル）は「デコーダー入力切換」を「テレビ」にしてください。☞54ページ

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

# BSデコーダーをつなぐ（つづき）

## デコーダーを設定する

お買い上げ時は、全てのBSチャンネルは「オート」に設定されていますので、設定しなおす必要はありません。設定を変更する場合は下記の手順で操作してください。

1 BSのチャンネルにする。
2 設定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押してチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
BS9〜15を設定したいときは、▶をBS7より下に移動します。
6 選択＋／ーボタンを押して「テレビ」、「デコーダー」、「オート」の設定の中から選び、決定ボタンを押す。

| 設定 | 内容 |
|---|---|
| オート | BSのスクランブル☆を自動判別 |
| テレビ | 受信した映像・音声をそのまま映す |
| デコーダー | デコーダー入力端子からの映像・音声を映す |

7 手順5〜6を繰り返して、入力を変えたいチャンネルを1つずつ設定する。
8 設定ボタンを押してメニューを消す。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ。

# 接続端子について

本機前面

S1映像　ビデオ2入力

映像　左 −音声− 右

ビデオID-1システム

1　2

本機裏面

3　4　5　6　7　8　9　10　11

VHF/UHF

BS IF入力

デコーダー入力　BS出力

映像

左

音声

右

検波出力

ビットストリーム出力

AFC入力

ビデオ入力

1　3

S1映像

ビデオ出力

映像

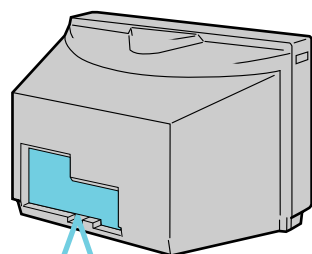
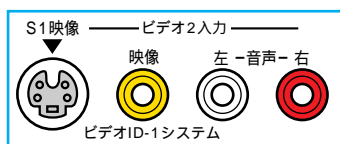
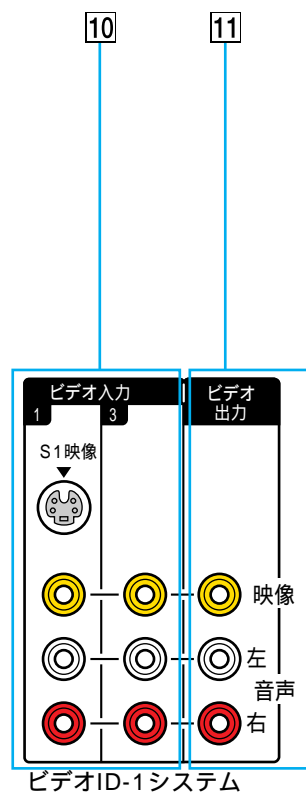
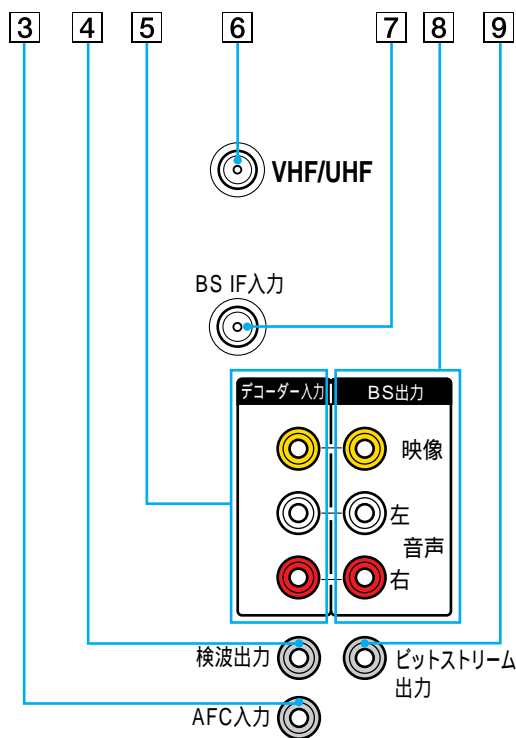
左

音声

右

ビデオID-1システム

各端子の説明は☞次ページ。

準備編

# 接続端子について（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

1 **ヘッドホン端子**☞13**ページ**
ヘッドホンをつなぎます。

2 **ビデオ**2**入力**（ID-1☆）（S1**映像**☆／**映像**／**音声**）**端子**☞60**ページ**
ゲームやビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

3 AFC**入力端子**☞53**ページ**
MUSE-NTSCコンバーターなどハイビジョン機器のAFC出力端子とつなぎます。

4 **検波**☆**出力端子**☞53**ページ**
BSデコーダーのFM検波入力端子とつなぎます。

5 **デコーダー**☆**入力**（**映像**／**音声**）**端子**☞53**ページ**
BSデコーダーの映像／音声出力端子とつなぎます。

6 VHF／UHF**アンテナ端子**☞44、45**ページ**
VHF／UHFアンテナ、またはケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

7 BS IF**入力端子**☞50**ページ**
BSアンテナからのケーブルをつなぎます。（これ以外のものはつながないでください）この端子から、BSコンバーター用電源（DC15V）を供給することができます。

8 BS**出力**（**映像**／**音声**）**端子**☞59**ページ**
ビデオデッキなどをつなぎます。受信しているBSの信号が常に出力されています。また、デコーダーが接続されているときは、スクランブル☆を解除した信号が出力されています。

9 **ビットストリーム**☆**出力端子**☞53**ページ**
BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。また、その他の新放送システムに対応するために用意されています。

10 **ビデオ**1、3**入力**（ID-1☆）（S1**映像**☆（**ビデオ**1**入力のみ**）／**映像**／**音声**）**端子**☞57、59**ページ**
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤーなどのビデオ機器をつなぎます。
つないだ機器からの映像／音声を映すことができます。

11 **ビデオ出力**（**映像**／**音声**）**端子**☞59**ページ**
ビデオデッキをつなぎます。
映像や音声を記録することができます。
**ご注意**
テレビに映っている映像、音声の信号を出力しますが、2画面（☞11ページ）、チャンネルインデックス（☞15ページ）、ストロボ（☞18ページ）時はメインとなる画面の信号のみ出力されます。
また、モジネット☆とテレビ放送を同時に出力することはできません。

☆のついた用語は用語集ご覧ください。☞67ページ

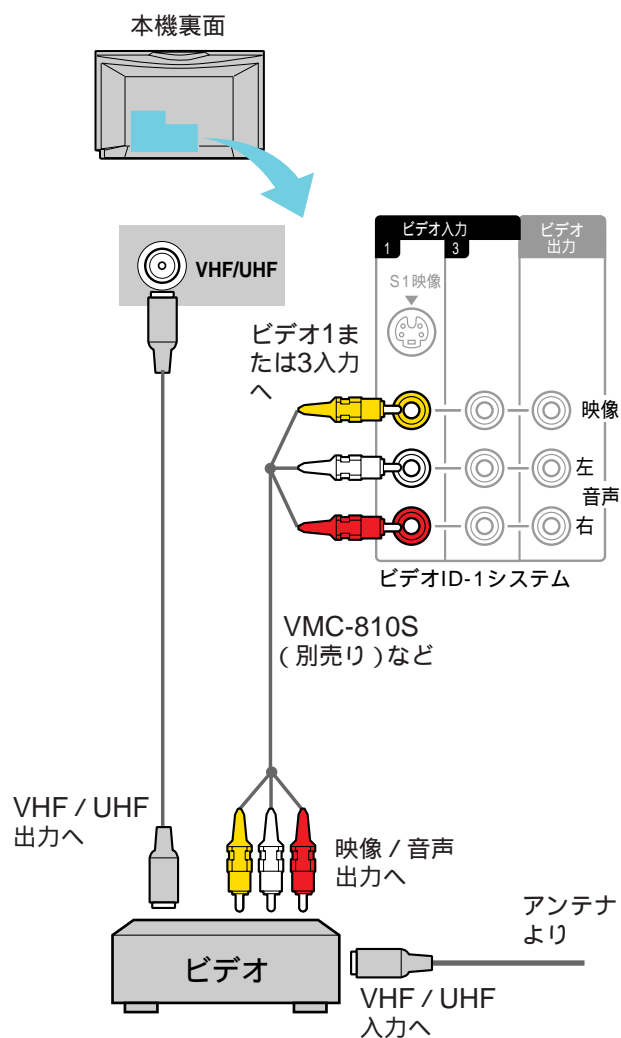
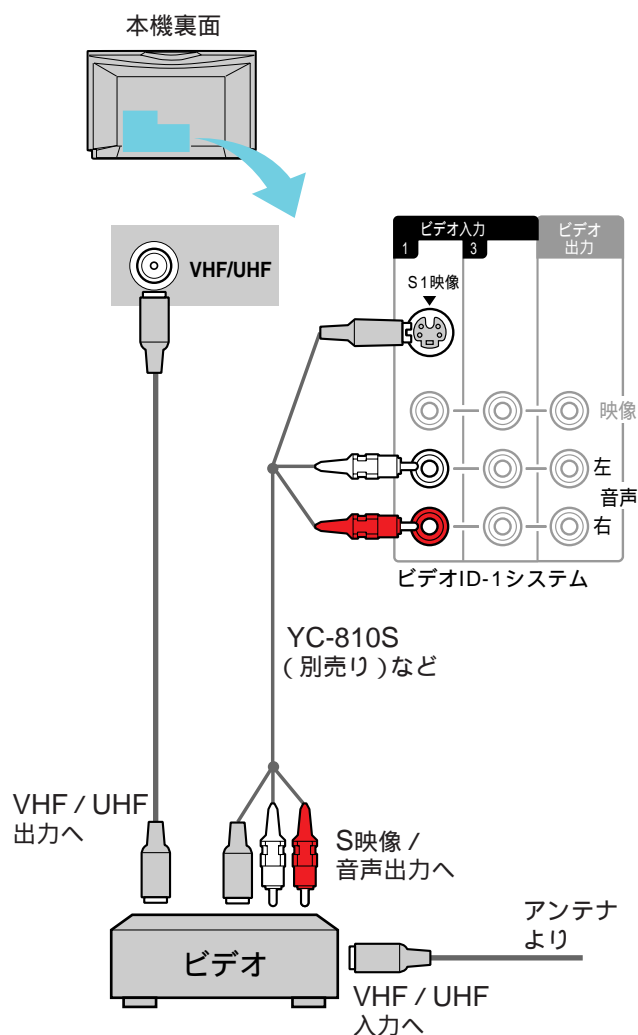
# ビデオデッキをつなぐ

ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。アンテナのつなぎかたは、「準備早わかり」（☞42ページ）およびビデオデッキの取扱説明書などをご覧ください。

## 基本の接続

### S映像端子のないビデオデッキ

### S映像端子付きビデオデッキ

準備編

## S1映像☆端子と映像端子の使い分けかた

接続する機器によって、S1映像端子どうしの接続がよいものと、映像端子どうしの方がよいものとがあります。下表を参考にして、よりよい画像でお楽しみください。

| 接続する機器 | おすすめする端子 |
| --- | --- |
| テレビチューナー<br>BSチューナー | 映像 |
| レーザーディスクプレーヤー ＊1 | 映像 |
| ビデオデッキ ＊2<br>ビデオカメラの再生 | S1映像 |
| DVDプレーヤー | S1映像 |
| MUSE-NTSCコンバーター☆ | S1映像 |
| ゲーム機 | S1映像 |
| デジタルCSチューナー | S1映像 |

＊1 三次元Y/C分離回路☆搭載のレーザーディスクプレーヤーの場合は、接続の違いによる画質の差はほとんど生じません。
再生モードにはデジタルを使わず、ノーマルで再生してください。

＊2 TBC（タイムベースコレクター）内蔵のビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も原則としてS1映像端子をおすすめします。

• S映像端子のない機器の場合は、映像端子をお使いください。

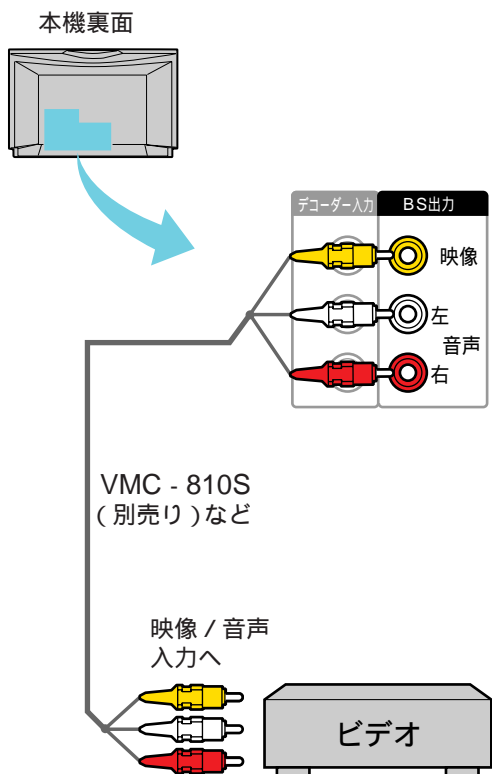
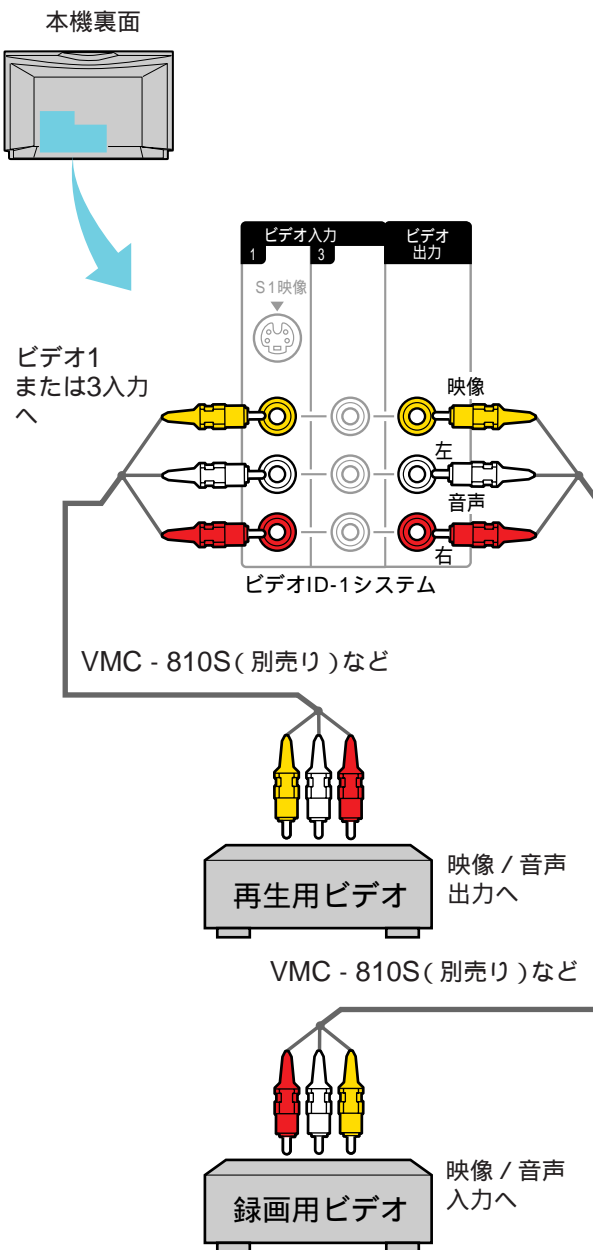
## S1映像☆／映像の切り換え

S1映像端子と映像端子を同時に接続すると、S1映像端子につないだ機器の画像が優先されて映ります。映像端子につないだ機器の画像を見るときは、下の手順に従って「S映像」を「切」にしてください。

1 入力切換ボタンを押して設定したいビデオ入力を選ぶ。
2 メニューボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「S映像」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／－ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
6 メニューボタンを押してメニューを消す。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

## 衛星放送を録画するための接続

テレビのチューナー☆を使ってBSを録画する場合は、下のようにつないでください。

## 編集するときの接続

**ご注意**

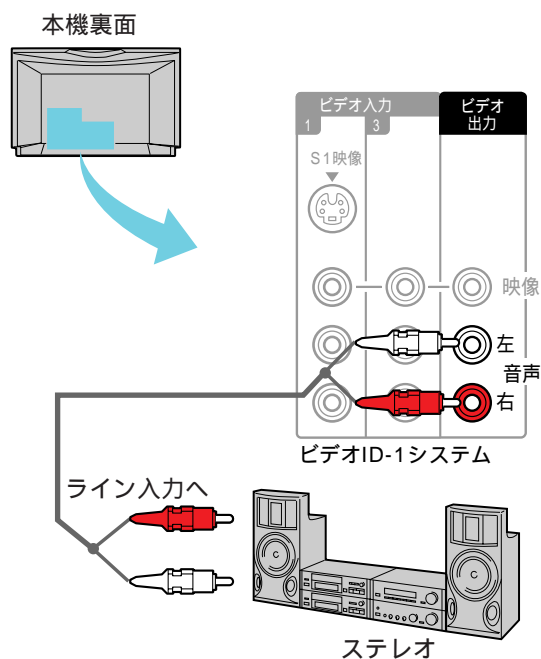
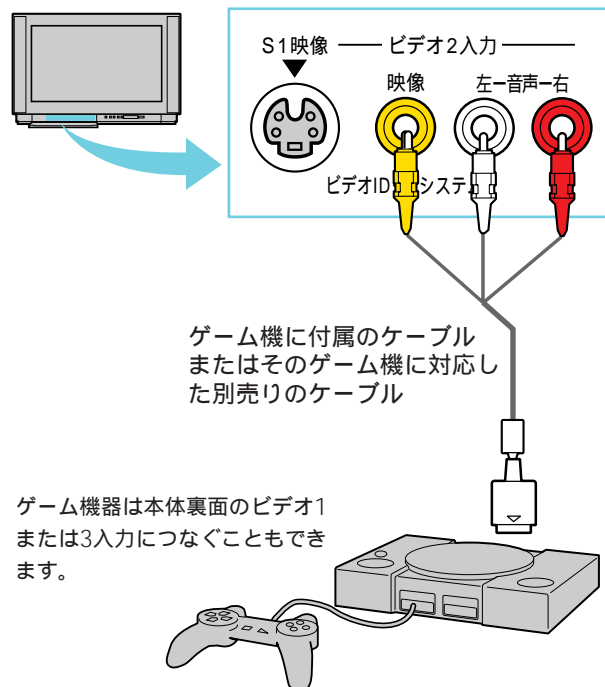
1台のビデオ機器に、本機からの出力と入力の両方の端子を同時に接続しないでください。画像が乱れることがあります。

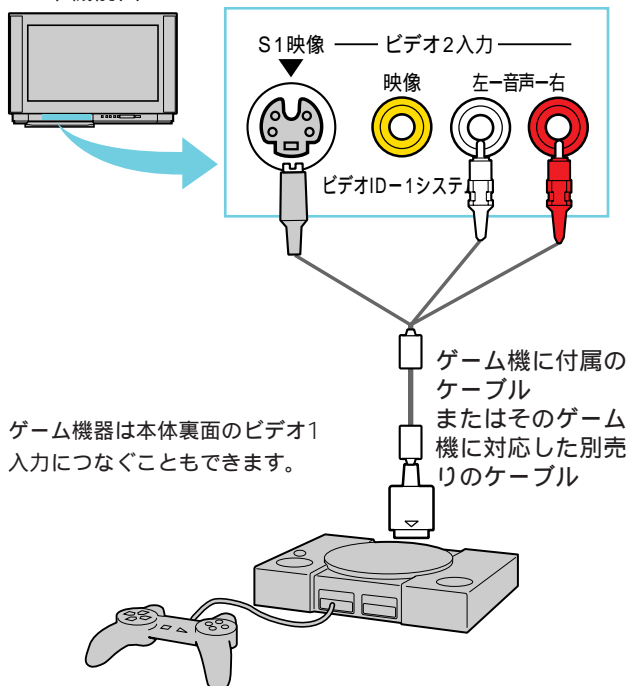
☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

準備編

# その他の機器をつなぐ

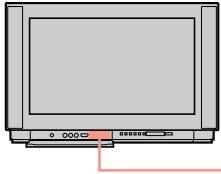
## ステレオシステムをつなぐ

オーディオ機器を接続するには、ビデオ出力の音声端子を使います。

## ゲーム機をつなぐ

ゲーム機器は本体裏面のビデオ1または3入力につなぐこともできます。

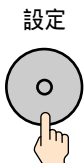
### S1映像入力端子につなぐには

ゲーム機器は本体裏面のビデオ1入力につなぐこともできます。

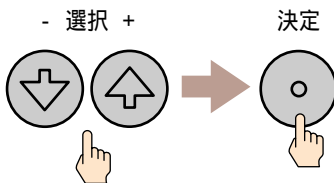
**ご注意**

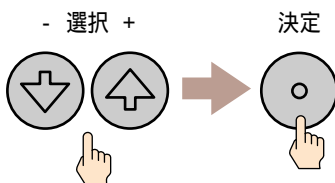
ケーブルについて詳しくは、ゲーム機をお買い上げになったお店にご相談ください。

# 地磁気による画像の傾きを補正する

設置後、テレビの向きを決めたら、方角補正をしてください。地磁気の影響がなくなり、よりよい画面をお楽しみいただけます。

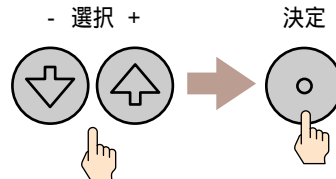
## 1 設定ボタンを押す

設定

▶設定　終了
テレビ設定
ＢＳ設定
初期設定

## 2 選択＋／−ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

初期設定　戻る
▶インデックス画面：13画面
文字番組登録初期化
方角補正：　0
オートステレオ：　入

## 3 選択＋／−ボタンを押して「方角補正」を選び、決定ボタンを押す。

初期設定　戻る
インデックス画面：13画面
文字番組登録初期化
方角補正：　0
オートステレオ：　入

## 4 選択＋／−ボタンを押して調整する。

画像を見ながら画面内の水平線がいちばん水平になるように調整します。
数値は−3〜＋3の範囲で変わります。

## 5 設定ボタンを押してメニューを消す。

**ご注意**

- 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、うまく補正されないことがありますので、お買い上げ店にご相談ください。
- テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーから離して設置してください。

# 故障かな？と思ったら

**下記の項目のほかになんらかの異常がある場合、リモコンの元どおりボタンを押してみてください。右記の項目は、テレビがお買い上げ時の状態に戻ります。お好み画質は「スタンダード」になります。**

- 二重音声
- 時計表示
- 2画面モードなど

| | |
|---|---|
| **テレビが映らない／またはスタンバイ／スリープランプが点滅している** | ■スタンバイ／スリープランプが点滅していたら、次ページの「自己診断表示」をご覧ください。<br>■電源コードが外れていませんか？<br>■テレビ本体の電源は入っていますか？ |
| **テレビの電源が突然切れた（スタンバイモードになった）** | ■省電力のため、放送が終了して約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示された後、自動的にスタンバイモードになります。<br>■2画面や画面メモのときは左画面または親画面の放送が、インデックス画面やストロボ画面のときは中央画面の放送が終了して、約10分過ぎると自動的にスタンバイモードになります。 |
| **オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる** | ■最適なワイド画面に自動的に切り換えるため、場面が変わったときなどに画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかることがありますが、故障ではありません。（「オートワイド」が「2」のとき）<br>■識別信号のある画像を受信して、信号に対応した画面モードになるためです。（☞4ページ）（「オートワイド」が「1」または「2」のとき）<br>■手動でワイド画面を切り換えていませんか？（「オートワイド」が「1」または「2」のとき）（☞8ページ） |
| **画像は出るが、音が出ない** | ■音量が下がりきっていませんか？<br>■画面に「消音」の表示が出ていませんか？<br>■ヘッドホンをつないでいませんか？ |
| **色がつかない、色がおかしい、画面が暗い** | ■お好み画質ボタンを押してください。（☞35ページ）<br>■画質調整ボタンを押して調整してください。（☞36ページ） |
| **画面の一部に色むらがある** | **テレビの近くから地磁気を乱すものを遠ざける**<br>■テレビをマンションの鉄骨や金属スタンドなどから離して設置してください。<br>■ビデオやスピーカーなどをテレビから離して設置してください。<br>**テレビの向きを変えたときに発生するときは**<br>■地磁気の影響によるものです。一度電源を切り、約30分後に、ご覧になる向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、軽減されます。また、地磁気補正も併せて行ってください。（☞61ページ） |
| **画像が二重、三重になる** | ■アンテナ線がはずれかかっていませんか？山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。<br>■アンテナの位置、方向、角度を調整してください。<br>■突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。 |
| **雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく** | ■アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？<br>■アンテナの寿命ではありませんか？通常3～5年、海辺では1～2年です。<br>■アンテナ線がはずれていませんか？ |
| **斑点や点模様が走る** | ■ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。アンテナはなるべく道路から離してください。 |

| | |
|---|---|
| **画像が傾く** | ■本体の設定ボタンで「方角補正」を選び調整してください。（☞61ページ） |
| **特定のチャンネルだけが映らない** | ■チャンネルを合わせ直してみてください。（☞46ページ） |
| **雑音が多い** | ■フィーダー線を使用していませんか？<br>■メニューで「オートステレオ：切」にしてください。（☞40ページ） |
| **リモコンで操作できない** | ■電池が消耗していませんか？<br>■電池が逆向きに入っていませんか？<br>■本体の赤いスタンバイ／スリープランプが点灯していますか？　ついていないときは、本体の電源スイッチを押してください。<br>■リモコン受光部との距離が離れすぎたり、角度が大きすぎませんか？<br>■リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっていませんか？離して設置してください。 |
| **リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない** | **ダイレクト選局の場合（☞48ページ）**<br>■ダイレクト／10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？<br>**10キー選局の場合（☞48ページ）**<br>■ダイレクト／10キー選局が「10キー」になっていますか？<br>■11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？<br>■最後に続けて⑫／選局を押しましたか？（スタンバイ／スリープランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときはチャンネル数字ボタンに続けて⑫／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。）<br>**その他**<br>■リモコンの電池が消耗していませんか？ |
| **キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る** | ■周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。 |
| **電源を入れたときにブーンという音がする** | ■地磁気などの影響を取り除くために動作させる消磁回路の動作音です。故障ではありません。 |
| **テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする** | ■テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。 |
| **BS（衛星放送）が映らない／乱れている** | **BSアンテナを直接つないでいる場合**<br>■メニューで「BS電源：オート」または「BS電源：連動」にしていますか？（☞51ページ）<br>■BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？<br>■アンテナの大きさは適切ですか？<br>■アンテナの前方に障害物はありませんか？<br>■アンテナの方向・角度を調整しましたか？（☞52ページ）<br>**BSアンテナに分配器を使っている場合**<br>■コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？<br>**マンションなどの共聴システムの場合**<br>■メニューで「BS電源：オート」または「BS電源：切」にしていますか？（☞51ページ）<br>■VHF/UHFとBSが一本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？（☞50ページ）<br>■ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？<br>**その他**<br>■放送時間を確認してください。<br>■雨や雪が降ると悪くなることがあります。<br>■BS専用のケーブルを使っていますか？（☞50ページ）<br>■アンテナコネクター（バルーン）を使っていませんか？<br>■メニューの「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？（☞54ページ） |
| **BS（衛星放送）の画像は出るが音が出ない** | ■スクランブル☆放送ではありませんか？ |
| **BS（衛星放送）のチャンネルが切り換わらない** | ■BS録画固定にしていませんか？（☞39ページ） |

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

# 故障かな？と思ったら（つづき）

| | |
|---|---|
| **モジネット☆が受信できない** | ■時間帯や放送局によっては、モジネットを放送していない場合があります。 |
| **字幕が出ない** | ■字幕放送は送られていますか？（☞31ページ）<br>■メニューで「字幕放送」を「切」にしていませんか？（☞32ページ） |
| **「コンバーター電源を確認してください」という文字がでたら** | ■マンションなどの共聴システムのときは、メニューの「BS設定」で「BS電源」を「切」にしてから、いったん電源を切ってください。（☞51ページ）<br>■BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。 |
| **ビデオを再生したとき画像が出ない** | ■S映像入力なのに、「S映像：切」にしていませんか？（☞58ページ） |
| **つないだ機器の画像、音が出ない** | ■接続コードが外れていませんか？<br>■リモコンの入力切換ボタンを押してみてください。 |

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞67ページ

# 自己診断表示 ―画面が消え、スタンバイ／スリープランプが点滅したら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ／スリープランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ／スリープランプが点滅したら、右の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

1. スタンバイ／スリープランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2. テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

## アフターサービスについて

### 調子が悪いときはまずチェックを

➡「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

### それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

➡お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

➡保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

➡修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

**ご相談になるときは次のことをお知らせください。**

**型名：**KV-32SF9
**故障の状態：できるだけくわしく**
**購入年月日：**

| お買い上げ店<br>TEL. |
|---|
| お近くのサービスステーション<br>TEL. |

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

# ブラウン管表面のお手入れについて

本機のブラウン管表面には特殊な処理が施されています。そのため、ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナーまたは、研摩剤の入っていない中性洗剤を水で薄めて、柔らかい布に含ませて、拭き取ってください。表面を傷つけることがあるため、固い布の使用やから拭きはやめてください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗浄液や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗浄剤も、使わないでください。

# 主な仕様

**システム**

| | |
|---|---|
| 受信方式 | NTSC方式 |
| 受信チャンネル | VHF 1～12チャンネル<br>UHF 13～62チャンネル<br>CATV C13～C35<br>BS1、3、5、7、9、11、13、15 |
| ブラウン管* | FDトリニトロン、<br>102度偏向32型 |

＊テレビの型（32型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

| | |
|---|---|
| 画面寸法 | 66.2×37.3、76cm<br>（幅×高さ、対角径） |
| 使用スピーカー | ウーファー10cm×2、<br>ミッドハイレンジスピーカー<br>（5×9cm楕円）×2 |
| 音声出力 | 実用最大7W×2 (EIAJ) |

**入出力端子**

| | |
|---|---|
| アンテナ端子 | VHF／UHF、BS IF 75Ω F型コネクター<br>（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W） |
| ビデオ1、2、3入力端子 | S1映像（ビデオ1、2入力のみ）：4ピンミニDIN<br>Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負<br>C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω<br>映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負<br>音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 47kΩ |
| ビデオ出力端子 | 映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負<br>音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 5kΩ以下 |
| ヘッドホン端子 | ステレオミニジャック<br>負荷インピーダンス16Ω以上 |
| BS出力端子 | 映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負<br>音声：ピンジャック、2チャンネル、標準出力レベル 250mVrms（FS-18dB時）、出力インピーダンス 5kΩ以下 |
| 検波出力端子 | ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p |
| ビットストリーム出力端子 | ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p |
| デコーダー入力端子 | 映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負<br>音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力250mVrms、インピーダンス47kΩ以上 |
| AFC入力端子 | ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p |

**電源部・その他**

| | |
|---|---|
| 消費電力 | 162W<br>（リモコン待機時3.5W「文字メモリー：切」時）<br>（リモコン待機時8.1W「文字メモリー：入」時） |
| 年間消費電力量** | 235kW•h／年 |

＊＊年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4～5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

| | |
|---|---|
| 最大外形寸法 | 87.4×56.3×57.2cm<br>（幅×高さ×奥行き） |
| 質量 | 約65.9kg |
| 電源 | AC100V、50/60Hz |
| 付属品 | リモートコマンダー　RM-J213（1）<br>乾電池　単3型（1）<br>アンテナコネクター（1）<br>取扱説明書（1）<br>保証書（1）<br>ソニーご相談窓口のご案内（1）<br>安全のために（1）<br>安全点検のおすすめ（1） |

**別売りアクセサリー**

| | |
|---|---|
| テレビスタンド | SU-F300<br>SU-32F1<br>SU-32V |
| ステレオヘッドホン | MDR-AV55 |
| テレビラック固定ベルト | BLT-R10 |

BSアンテナなど
接続ケーブルなど

• このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
• 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 用語集

### ID-1方式（ビデオ ID-1システム）
ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の横縦比（16：9、4：3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称です。本機はID-1方式に対応しています。
ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1〜3入力端子（ビデオID-1システム対応端子）につなぐと、ID-1方式の映像となります。
ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

### アンテナレベル
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどによって影響を受けます。

### Aモード
BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送なみです。4チャンネルのうち2チャンネルを使って独立音声が放送されることがあります。
サンプリング周波数：32kHz
量子化：14/10ビット　準瞬時圧伸方式

### FDトリニトロン管
従来のトリニトロン管に比べて、垂直方向に加え、水平方向にもフラットになった新しいトリニトロン管です。画像や文字情報を、画面の中央から画面の端まで、ゆがみのより少ない自然な映像でお楽しみいただけます。

### S-1方式（S1映像）
S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより画面の横縦比（16：9または4：3）の情報を記録するシステムの名称です。本機はS-1方式に対応しています。
S-1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、前面パネルのビデオ2入力端子など、本機のS1映像入力端子にS映像ケーブルを使ってつなぐと、S-1方式の映像となります。
ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

### 検波
衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

### 三次元Y/C分離回路
本機内部にある回路で、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

### シネマサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：2.35になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

### スクランブル
映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダーなど）が必要です。

### チューナー
電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。
本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

### デコーダー
スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

### 独立音声放送
BSでは、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送が送られている場合があります。これが独立音声放送です。

### ハイビジョン実用化試験放送
1997年6月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。ハイビジョン放送を見るためには、MUSE-NTSCコンバーターが必要です。

### Bモード
BSで送信される音声の種類のひとつ。CDなみの高音質が楽しめるので、音楽番組などで使われています。
サンプリング周波数：48kHz
量子化：16ビット　直線量子化

### ビットストリーム
衛星放送の電波で送られてくるデジタル信号です。音声とデータがデジタル化されています。

### ビスタサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：1.85になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

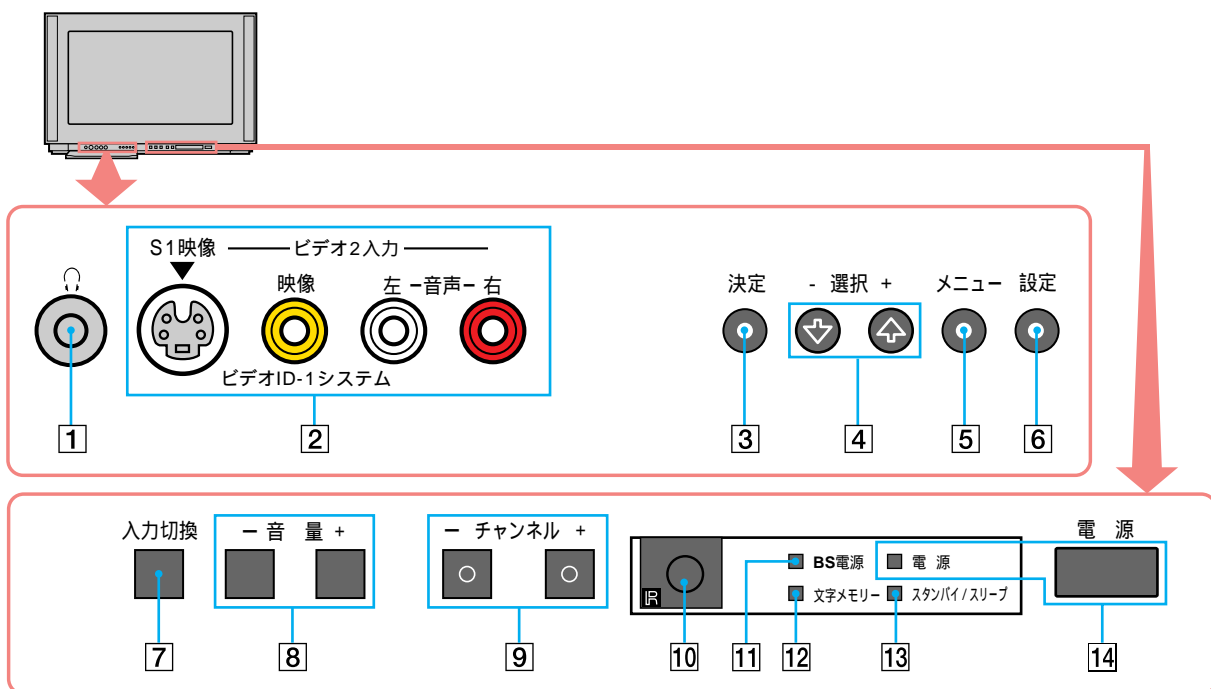
### 偏波
衛星放送の電波の流れの型です。
BSは円偏波です。

### MUSE
ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

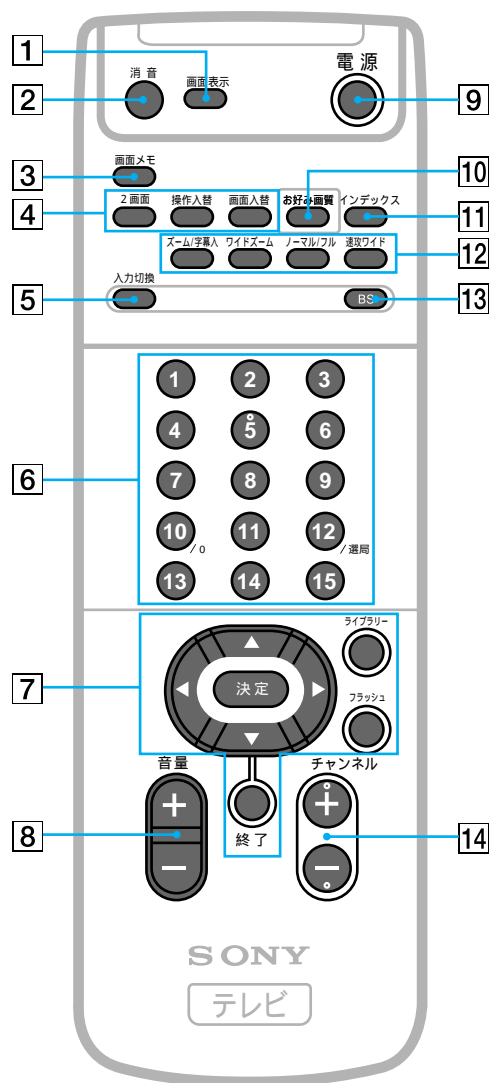
### MUSE-NTSCコンバーター
MUSE方式のハイビジョン放送を現行放送方式（NTSC）に変換するための機器です。画質は現行放送方式（NTSC）と同等になります。

### モジネット
文字やイラストで構成されたテレビ番組。モジネットを受信するには、モジネットをデコード（解読）する機能が必要です。
本機はモジネットを手軽に楽しむことができます。

# 各部の名前／Identification of controls

## 本体前面／TV Front Panel

1 ヘッドホン端子☞13ページ
2 ビデオ2入力端子☞60ページ
　S1映像端子
　映像端子
　音声（左）端子
　音声（右）端子
3 決定ボタン☞46ページ
4 選択＋／ーボタン☞46ページ
5 メニューボタン
6 設定ボタン☞46ページ
7 入力切換ボタン
8 音量＋／ーボタン☞2ページ
9 チャンネル＋／ーボタン☞2ページ
10 リモコン受光部
11 BS電源ランプ☞39ページ
12 文字メモリーランプ☞26ページ
13 スタンバイ／スリープランプ☞2、64ページ
14 電源スイッチ／ランプ☞2ページ

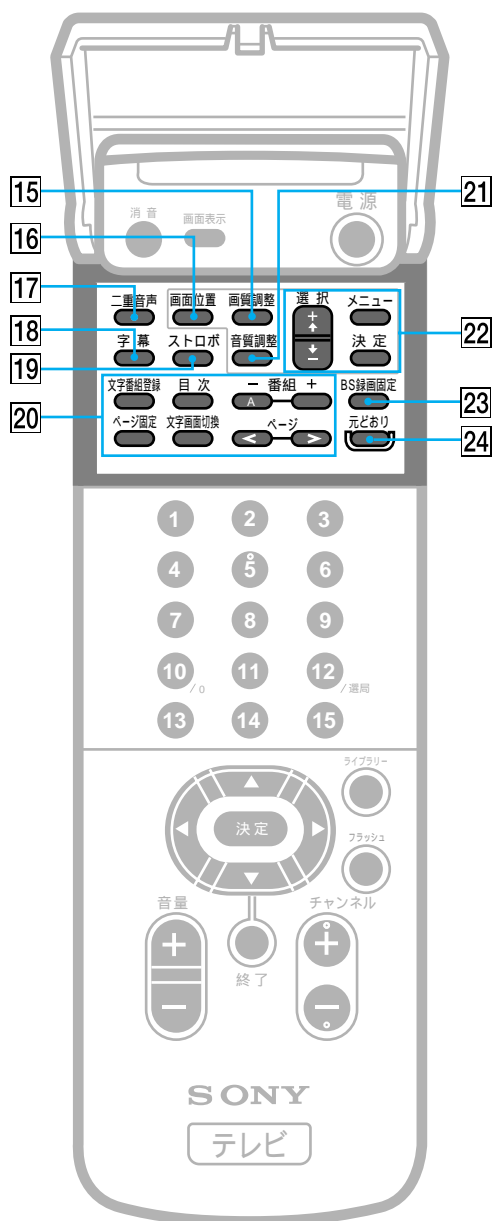
1 Headphones jack page 13
2 VIDEO 2 input jacks page 60
　S1 -Video jack
　Video in jack
　Audio-L jack
　Audio-R jack
3 Enter button page 46
4 Select +/– buttons page 46
5 Menu button
6 Preset button page 46
7 Input Select button
8 Volume +/– buttons page 2
9 Channel +/– buttons page 2
10 Remote Control sensor
11 BS（Broadcast Satellite) Power indicator page 39
12 Text Memory indicator page 26
13 Standby/Sleep indicator pages 2, 64
14 Power switch/indicator page 2

# リモコン／Remote Control

1 画面表示ボタン☞3ページ
2 消音ボタン☞3ページ
3 画面メモボタン☞19ページ
4 2画面操作部☞11ページ
5 入力切換ボタン☞33ページ
6 チャンネル数字ボタン☞15ページ
7 モジネット操作部☞20ページ
8 音量＋／ーボタン☞2ページ
9 電源スイッチ☞3ページ
10 お好み画質ボタン☞35ページ
11 インデックスボタン☞15ページ
12 ワイド画面操作部☞8ページ
13 BSボタン☞2、34ページ
14 チャンネル＋／ーボタン☞2ページ

1 Display button page 3
2 Muting button page 3
3 Screen Memo button page 19
4 Twin Picture Operation buttons page 11
5 Input Select button page 33
6 Channel Number buttons page 15
7 Teletext Operation buttons page 20
8 Volume +/– buttons page 2
9 Power switch page 3
10 Favorite Picture Type button page 35
11 Index button page 15
12 Wide Mode Select buttons page 8
13 BS (Broadcasting Satellite) button pages 2、34
14 Channel +/– buttons page 2



つづく

# 各部の名前／Identification of controls（つづき）

15 画質調整ボタン☞36ページ
16 画面位置ボタン☞9ページ
17 二重音声ボタン☞40ページ
18 字幕ボタン☞31ページ
19 ストロボボタン☞18ページ
20 モジネット操作部☞20ページ
21 音質調整ボタン☞37ページ
22 メニューボタン☞6ページ
　選択＋／−ボタン☞6ページ
　決定ボタン☞6ページ
23 BS録画固定ボタン☞39ページ
24 元どおりボタン☞62ページ

15 Picture Adjust button　page 36
16 Picture Position button　page 9
17 Audio Mode (Bilingual) button　page 40
18 Subtitle button　pege 31
19 Strobe button　page 18
20 Teletext Operation buttons　page 20
21 Sound Adjust button　page 37
22 Menu button　page 6
　Select +/– buttons　page 6
　Enter button　page 6
23 BS recording button　page 39
24 Reset button　page 62

# 索引

## あ行



## か行



## さ行



## た行



## な行



## は行



## ま行



## や行



## ら行



## わ行

## 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは

→

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する


ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111



Printed in Japan